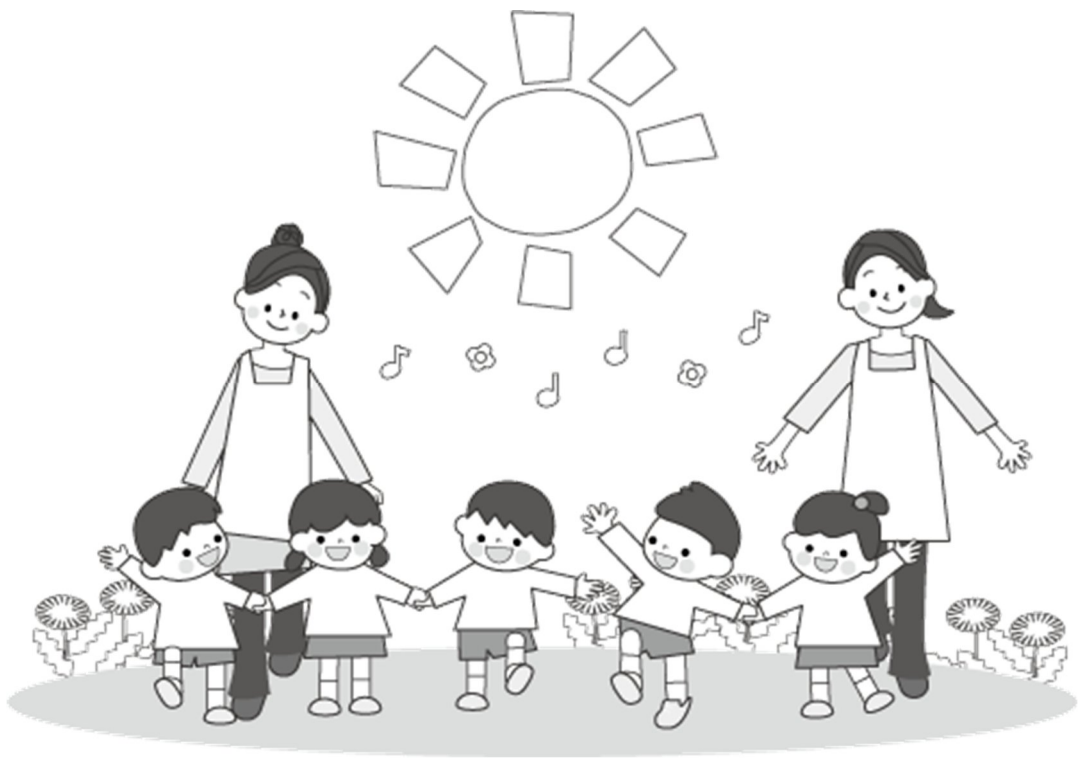


守山市

保育園 認定こども園 幼稚園

# 幼児教育・保育カリキュラム



令和3年3月作成

## はじめに

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～と題された令和3年1月26日の中央審議協議会答申では、各論の「1 幼児教育の質の向上について (1) 基本的な考え方」で、幼児教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものであり、義務教育及びその後の教育の基礎を培うことが目的として掲げられ、幼稚園・保育所・認定こども園といった各幼児教育施設においては、集団活動を通して、幼児期に育みたい資質・能力を育成する幼児教育の実践の質の向上が必要であると明記されました。

わたくしたち保育者は、子どもたちが身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で達成感を味わいながら、健やかに育つことができるように、日々の保育の充実を目指しています。一人一人の子どもをよき点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出すプロセスを、日々の保育の中で大切にし、子どもたちが主体的に人やもとにかかわれるよう工夫しています。

令和の時代のコロナ禍の中で、園現場で今まで大切にしてきた直接体験や人とのふれあいが十分にできない中であっても、わたしたち保育者は、子どもたちの興味や関心をいかにして引き出し、主体的に人やものにかかわろうとする意欲を育てていくかを探り続けました。

これからも守山市教育大綱「大地に根を張り、心豊かにたくましく生き抜く人づくり」の基本理念にのっとり、守山市の子どもたちを心豊かにたくましい子どもに育て続けていくために、この「守山市幼児教育保育・教育カリキュラム」を常に開いて、教材研究や保育計画に活用していただき、守山市の保育の質の向上につなげていきたいと願っております。

本カリキュラムの策定にご尽力いただいた京都大学国際高等教育院 准教授の田中真介先生、平成30年度園長会の先生方、平成31年度および令和2年度副園長・主幹会の先生方、まことにありがとうございました。

令和3年3月

守山市保育幼稚園課

## 第2期守山市教育行政大綱 (2019~2022)

- 教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるもの
- 守山市関連計画に基づき、4年に一度の見直しを行うもの

### 守山市教育の基本理念

大地に根を張り心豊かにたくましく生き抜く人づくり  
～ふるさとを愛し、未来に実を結ぶ守山の教育～

### 就学前教育目標

心豊かにたくましく生き抜く子どもの育成



守山市保育園 認定こども園 幼稚園 教育・保育カリキュラム

※「守山市教育行政大綱」の改定時期に合わせた見直しが望ましい

#### ～カリキュラムの構成～

- ・「共通カリキュラム」を参考に、自園の教育課程や保育全体計画を見直したり、改定したりしながら全保育者が目指す保育内容として共通理解し、確実に実践していく。
- ・年齢ごとの発達を保障し、小学校への円滑な接続を見据え、市全体で共通の目標や育てたい力を意識する。
- ・等しく豊かで質の高い教育および保育を保障する。

#### ～カリキュラムの項目について～

**養護** 生命の保持、情緒の安定を図るための配慮、援助の総称。

**期** その時期に育てたい姿の概要。

※年齢によって期の分け方は異なる

**ねらい** 子どもの発達過程や経験に応じて、その時期に育つことが期待される心情、意欲、態度であり、主に教育的な視点での表記。

**内容** ねらいを達成するため、実際に子どもに経験させたい内容。5領域にわたるが、その領域にも相互にかかわりあって経験するものであり、枠組みはなし。

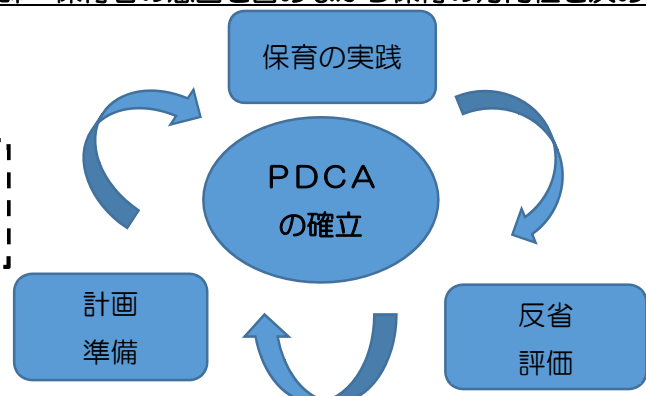
**家庭との連携** 子どもの発達や保育計画、集団生活の中での予想される姿等を踏まえて、家庭と連携をはかる上で参考となる事項。



～各園において～

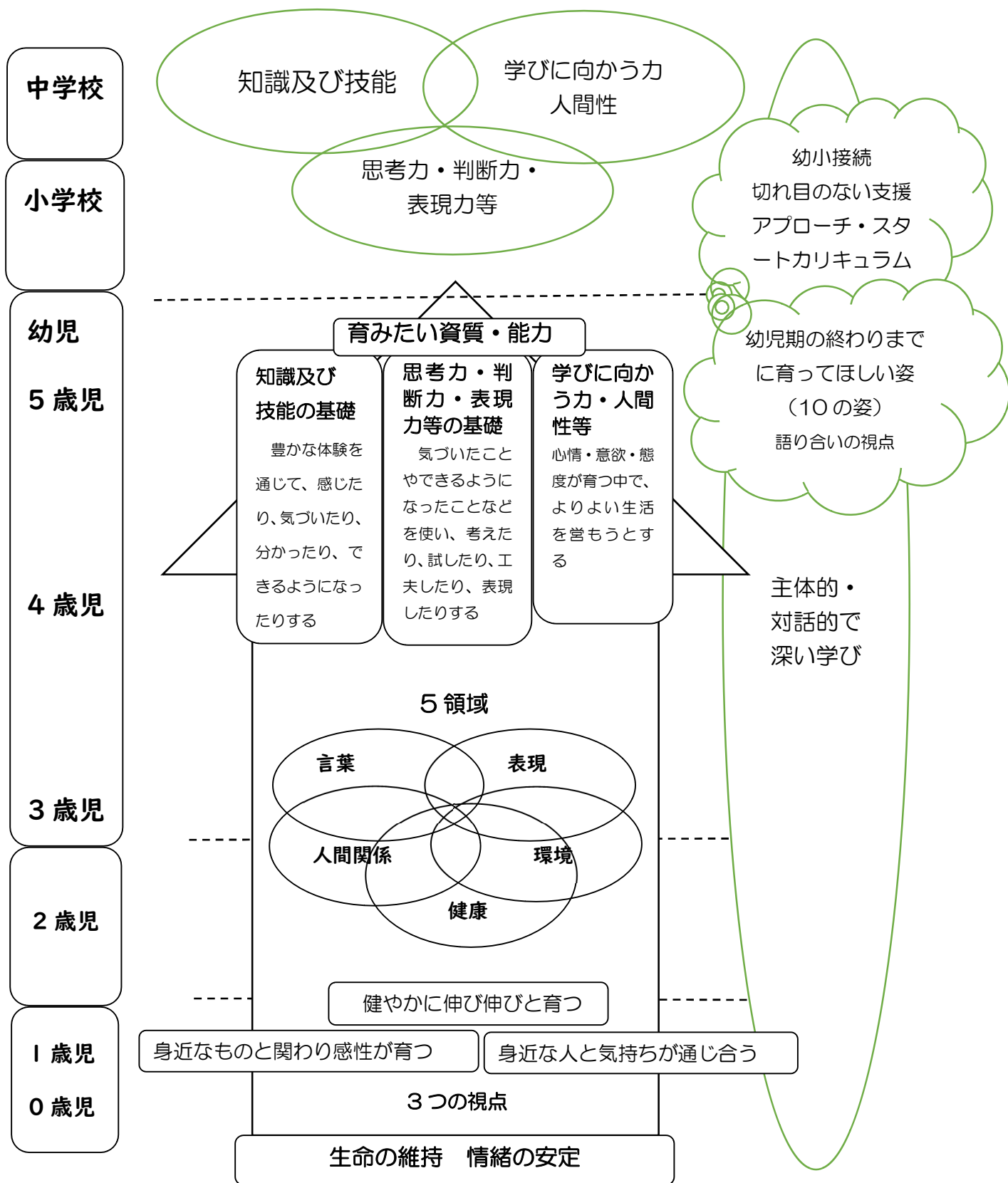
「子どもの興味・関心」や「生活する姿」を捉え、教師・保育者の意図を含めながら保育の方向性を決める。

- 教育課程、保育全体計画の作成、見直し
- 指導計画作成（年間、月案、週案、日案等）



**こどもの育ち連携** 家庭の教育力を高め、地域や学校、園、行政が一体となって子どもの育ちを支える仕組み

# 学びの課程



# 0歳児

養 護	生命の 保持	一人一人の生活リズムを大切にし、健康・安全に十分配慮しながら個々に応じて生理的欲求を満たす。
	情緒の 安定	保育者との応答的なかわりの中で安心して過ごせるように愛着関係を育んでいく。

6か月未満児 『快、不快を安心して表す時期』

6～9か月児 『「なんだろう」と周囲へ興味をもつ時期』

10～12か月児

『「もういっかい」と、あふれる気持ちを周囲の大人に伝える時期』

1歳～1歳半 『「いやいや」「じぶんで」と自我の芽生えを育む時期』

0歳児保育・教育課程（6か月未満児）

快、不快を安心して表す時期			
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4ヶ月頃には首がすわり、自分の意思で腕、手首、足を動かせるようになる。</li> <li>・5ヶ月には、目の前のものをつかもうとしたり、手を口にもっていったりなど手足が活発に動く。</li> <li>・寝返り、腹ばいになり全身の動きを楽しむ。</li> <li>・身近な人の顔が分かりあやしてもらうことを喜ぶ。</li> <li>・快、不快の表出がはっきりとし、声を出したり知っている人に自分から笑いかけたりする。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目覚め、睡眠などのリズムをつけ機嫌よく過ごす。</li> <li>・表出や喃語を受け止めてもらったり声を出したりして保育者との関わりを喜ぶ。</li> </ul>		
内容（養護の視点・教育の視点）	健やかにのびのび育つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生理的欲求が十分に満たされ、心地よく生活する。</li> <li>・整えられた生活リズムの中で、睡眠、空腹が満たされ心地よく過ごす。</li> </ul>	援助と環境の構成
	身近な人と気持ちが通じ合う  身近なものとの関わり感性が育つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼する保育者と視線を合わせて、笑ったり、親しみや安心感をもったりする。</li> <li>・保育者に遊んでもらうことを喜び、その喜びを声や身体を使って表現する。</li> <li>・保育者に見守られながら、身の回りの物に興味をもち、手を伸ばして触れたり、動く物や音のする物を目で追ったりする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の家庭での生活リズムや健康状態を聞きとり、担任間で共通理解を図る。</li> <li>・登降園時に家庭や園での様子を互いに伝え合い、信頼関係を築く。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

0歳児保育・教育課程（6か月～9か月児）

「なんだろう」と周囲へ興味をもつ時期

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>唇を閉じて食べ物や飲み物を飲み込むことができ始め、様々な食材を食べようとする。</li> <li>腹ばい、座る、ずり這いなど姿勢を変えることができるようになる。</li> <li>身近な親しい人の働きかけに応じようとし、自ら気持ちを通わせようとする。</li> <li>見知らぬ人には泣いたり、人を見比べたりするようになる。</li> <li>目で見た物を手に取り、手や口で確かめようとする。</li> </ul>												
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な食材の味や形態に慣れ食べようとする。</li> <li>信頼できる保育者がすることに興味をもって見たり真似たりする。</li> <li>身の回りにある物や人に気持ちを向け、体を動かす。</li> </ul>												
<p>内容（養護の視点・教育の視点）</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="236 593 300 952"> <p>健やかにのびのび育つ</p> </td> <td data-bbox="308 593 909 952"> <ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ交換や衣服の着脱などを通じて清潔になることの心地よさを感じる。</li> <li>保育者に食べさせてもらうことを喜び、様々な食材の味や形態に慣れる。</li> <li>腹ばい、座る、ハイハイなど体を動かしたりすることを楽しむ。</li> </ul> </td> <td data-bbox="917 593 981 1836"> <p>援助と環境の構成</p> </td> <td data-bbox="989 593 1457 1836"> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の排尿感覚を把握しながら同じ場所でおむつを取替え、きれいになった心地よさが味わえるようにする。</li> <li>個人差に応じて授乳を行いながら離乳を進めていく。また、様々な味に慣れ食べることが楽しみになるようにする。</li> <li>ハイハイが十分にできるような空間を整え、動きたい欲求が満たされるようにする。</li> <li>子どもと向き合い、目を合わせながら、語りかけたり“ふれあい遊び”や“やりとり遊び”を楽しんだりし、保育者と気持ちを通わせる喜びが味わえるようにする。</li> <li>腹ばい、座る、ハイハイ等発達を考慮しながら、様々な感触の違いに気付くことができるように、子どもの手の届く範囲に素材や感触の異なる玩具（なめらか、ザラザラ、柔らか、チクチクなど）を用意する。</li> <li>なめたり、口に入れたりしても安全な玩具を用意する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="236 963 300 1444"> <p>身近な人と気持ちが通じ合う</p> </td> <td data-bbox="308 963 909 1444"> <ul style="list-style-type: none"> <li>人見知りが始まり、信頼する保育者を求める。</li> <li>喃語や表情を受け止めてくれる保育者とかかわることを喜ぶ。</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="236 1456 300 1836"> <p>身近なものとの関わり感性が育つ</p> </td> <td data-bbox="308 1456 909 1836"> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に見守られながら、身の回りの物に興味をもつ。</li> <li>玩具をなめたり、触れたりしながら、音や形、手触りなど感触の違いに気付き繰り返し触れて遊ぶことを楽しむ。</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<p>健やかにのびのび育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ交換や衣服の着脱などを通じて清潔になることの心地よさを感じる。</li> <li>保育者に食べさせてもらうことを喜び、様々な食材の味や形態に慣れる。</li> <li>腹ばい、座る、ハイハイなど体を動かしたりすることを楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の排尿感覚を把握しながら同じ場所でおむつを取替え、きれいになった心地よさが味わえるようにする。</li> <li>個人差に応じて授乳を行いながら離乳を進めていく。また、様々な味に慣れ食べることが楽しみになるようにする。</li> <li>ハイハイが十分にできるような空間を整え、動きたい欲求が満たされるようにする。</li> <li>子どもと向き合い、目を合わせながら、語りかけたり“ふれあい遊び”や“やりとり遊び”を楽しんだりし、保育者と気持ちを通わせる喜びが味わえるようにする。</li> <li>腹ばい、座る、ハイハイ等発達を考慮しながら、様々な感触の違いに気付くことができるように、子どもの手の届く範囲に素材や感触の異なる玩具（なめらか、ザラザラ、柔らか、チクチクなど）を用意する。</li> <li>なめたり、口に入れたりしても安全な玩具を用意する。</li> </ul>	<p>身近な人と気持ちが通じ合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人見知りが始まり、信頼する保育者を求める。</li> <li>喃語や表情を受け止めてくれる保育者とかかわることを喜ぶ。</li> </ul>			<p>身近なものとの関わり感性が育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に見守られながら、身の回りの物に興味をもつ。</li> <li>玩具をなめたり、触れたりしながら、音や形、手触りなど感触の違いに気付き繰り返し触れて遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>		
<p>健やかにのびのび育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ交換や衣服の着脱などを通じて清潔になることの心地よさを感じる。</li> <li>保育者に食べさせてもらうことを喜び、様々な食材の味や形態に慣れる。</li> <li>腹ばい、座る、ハイハイなど体を動かしたりすることを楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の排尿感覚を把握しながら同じ場所でおむつを取替え、きれいになった心地よさが味わえるようにする。</li> <li>個人差に応じて授乳を行いながら離乳を進めていく。また、様々な味に慣れ食べることが楽しみになるようにする。</li> <li>ハイハイが十分にできるような空間を整え、動きたい欲求が満たされるようにする。</li> <li>子どもと向き合い、目を合わせながら、語りかけたり“ふれあい遊び”や“やりとり遊び”を楽しんだりし、保育者と気持ちを通わせる喜びが味わえるようにする。</li> <li>腹ばい、座る、ハイハイ等発達を考慮しながら、様々な感触の違いに気付くことができるように、子どもの手の届く範囲に素材や感触の異なる玩具（なめらか、ザラザラ、柔らか、チクチクなど）を用意する。</li> <li>なめたり、口に入れたりしても安全な玩具を用意する。</li> </ul>										
<p>身近な人と気持ちが通じ合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人見知りが始まり、信頼する保育者を求める。</li> <li>喃語や表情を受け止めてくれる保育者とかかわることを喜ぶ。</li> </ul>												
<p>身近なものとの関わり感性が育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に見守られながら、身の回りの物に興味をもつ。</li> <li>玩具をなめたり、触れたりしながら、音や形、手触りなど感触の違いに気付き繰り返し触れて遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>												
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と連携を図りながら離乳食を進めていく。</li> <li>一人一人の家庭での生活リズムや健康状態を聞きとり、担任間で共通理解を図る。</li> <li>登降園時に家庭や園での様子を互いに伝え合い、信頼関係を築く。</li> </ul>												



## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

0歳児保育・教育課程（10か月～12か月児）

「もういっかい」と、あふれる気持ちを周囲の大人に伝える時期

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡は午前、午後の2回になり、睡眠時間が定まってくる。</li> <li>・人への警戒心が現れ、甘え、後追いなどが見られるようになる一方で、保育者との信頼関係に基づく情緒の安定から、探索活動が活発になる。</li> <li>・伝い歩きや、一人で立つことができる。また、手指の動きも細かくなり、つまんだり握ったりできるようになる。（ピンセットつまみ・引っ張り出す）</li> <li>・栄養のほとんどを離乳食から摂るようになる。</li> <li>・一人で段差や斜面でもハイハイをする。</li> </ul>		
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者のそばで、安心して探索遊びをする。</li> <li>・戸外遊びを通して身近な自然に触れたり、探索遊びをしたりする。</li> <li>・保育者とのやりとりの中で、発声したり、身振りで表現したりする。</li> </ul>		
<p>内容（養護の視点・教育の視点）</p>	<p>健やかにのびのび育つ</p> <p>身近な人と気持ちが通じ合う</p> <p>身近なものとの関わり感性が育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段差や斜面でのハイハイや、つかまり立ちなど、体を動かすことを楽しむ。</li> <li>・食べることを喜び、手づかみで食べようとする。</li> <li>・保育者の仕草に興味を示し、自分もしようとする。</li> <li>・自分の名前を呼ばれて、振り返ったり手を挙げたりする。</li> <li>・ちょうだいと言われたら、物を相手に渡す。</li> <li>・保育者と一緒に、様々な色や形のものや絵本などを見て楽しむ。</li> <li>・保育者に見守られながら、身の回りのものに興味をもち、自分から触れてみようとする。</li> <li>・歌を聞いたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かしたりして楽しむ。</li> <li>・いろいろな素材に触れて楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の生活の流れや習慣を大切にし、子どもが見通しをもてるような生活リズムや環境を作るようにする。</li> <li>・一人一人の成長に合った運動や探索活動が楽しめるように空間や遊具を工夫する。</li> <li>・楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする。</li> <li>・保育者の働きかけに応じる様子や子どもの要求を受け止め、意味ある言葉にして返したり、応答する楽しさを味わったりできるようにする。</li> <li>・見る、聞く、触るなどの経験が十分できるよう、様々な素材に出会える機会をつくる。</li> <li>・保育者と一緒にわらべ歌や手遊びなどする中で、声やリズムの心地よさを感じ、体を動かす楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園で流行っている感染症などの情報について知らせ、子どもの体調などこまめに連絡し合う。</li> <li>・すべての保育者と情報を共有し、保護者や担任等に伝達漏れがないようにする。</li> <li>・離乳食の回数が増え、園と家庭での姿に違いが生じてくることもあるため、量や形態、味付け等細やかに連携していく。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

0歳児保育・教育課程（1歳児～1歳半未満児）

「いやいや」「じぶんで」と自我の芽生えを育む時期

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体力がつき、午前中は活動し、午睡を1回するようになる。</li> <li>・ つかまり立ちや、伝い歩きができるようになる。喃語や会話らしい抑揚がつき、身近な単語を話すようになる。</li> <li>・ スプーンやフォークを使い、自分で食べようとする。</li> </ul>									
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸外遊びを通して身近な自然に触れ、探索遊びをする。</li> <li>・ 保育者と一緒に遊ぶ中で、周りの人やもの、ことに関心をもつ。</li> <li>・ 体の動きや表情、発声等により、保育者と気持ちを通わせようとする。</li> </ul>									
<p>内容（養護の視点・教育の視点）</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 586 298 907"> <p>健やかなのびのびのび育つ</p> </td> <td data-bbox="303 586 906 907"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人で立ったり歩くようになったりして、自分が興味を持った方に探索しようとする。</li> <li>・ 好きな歌や音楽に合わせて、体を揺らして楽しむ。</li> <li>・ 離乳食から乳児食へと移行する。歯や歯茎で咀嚼して食べようとする。</li> <li>・ こぼしたり口に詰め込みすぎたりしながらも、スプーンやフォークを持って食べようとする。</li> </ul> </td> <td data-bbox="911 586 1474 907"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転倒や怪我に注意をし、安全な場所でたくさん歩き、体を動かす楽しさが味わえるようにする。</li> <li>・ 自分で食べやすいように、食材の形や大きさを工夫する。</li> <li>・ 自分で食べようとする気持ちを大切ににし、喜んでいろいろな食品が食べられるようにする。</li> <li>・ 排泄面では、個人差に留意して自立を焦らずゆったりと関わるようにする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 913 298 1355"> <p>身近な人と気持ちが通じ合う</p> </td> <td data-bbox="303 913 906 1355"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心できる保育者の見守りの中で、身の回りの大人や友達に関心を持ち、真似たり関わったりする。</li> <li>・ 単語や指さしで伝えようとする。</li> <li>・ 保育者とのかかわりの中で、共感してもらうことを喜び、そのやりとりを楽しむ。</li> </ul> </td> <td data-bbox="911 913 1474 1355"> <p>援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玩具の取り合いなどが起こった際には、子どもの思いを受け止め、気持ちを言葉にしたり、遊びが満足するように環境を工夫したりする。</li> <li>・ 指さしや表情、喃語等を保育者が受け止め、共感し、子どもの伝えたい思いを膨らませていくように心がける。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1361 298 1771"> <p>身近なものとの関わり感性が育つ</p> </td> <td data-bbox="303 1361 906 1771"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きな歌や音楽に合わせて、体を揺らして楽しむ。</li> <li>・ 手指が細かく動くようになり、つまんだり握ったりなど、手指を使った遊びを繰り返し楽しむ。</li> </ul> </td> <td data-bbox="911 1361 1474 1771"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者や友達と一緒にいることに安心しながら、一人一人が好きな玩具や興味のあることをじっくりと楽しめる環境づくりをする。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>健やかなのびのびのび育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人で立ったり歩くようになったりして、自分が興味を持った方に探索しようとする。</li> <li>・ 好きな歌や音楽に合わせて、体を揺らして楽しむ。</li> <li>・ 離乳食から乳児食へと移行する。歯や歯茎で咀嚼して食べようとする。</li> <li>・ こぼしたり口に詰め込みすぎたりしながらも、スプーンやフォークを持って食べようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転倒や怪我に注意をし、安全な場所でたくさん歩き、体を動かす楽しさが味わえるようにする。</li> <li>・ 自分で食べやすいように、食材の形や大きさを工夫する。</li> <li>・ 自分で食べようとする気持ちを大切ににし、喜んでいろいろな食品が食べられるようにする。</li> <li>・ 排泄面では、個人差に留意して自立を焦らずゆったりと関わるようにする。</li> </ul>	<p>身近な人と気持ちが通じ合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心できる保育者の見守りの中で、身の回りの大人や友達に関心を持ち、真似たり関わったりする。</li> <li>・ 単語や指さしで伝えようとする。</li> <li>・ 保育者とのかかわりの中で、共感してもらうことを喜び、そのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玩具の取り合いなどが起こった際には、子どもの思いを受け止め、気持ちを言葉にしたり、遊びが満足するように環境を工夫したりする。</li> <li>・ 指さしや表情、喃語等を保育者が受け止め、共感し、子どもの伝えたい思いを膨らませていくように心がける。</li> </ul>	<p>身近なものとの関わり感性が育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きな歌や音楽に合わせて、体を揺らして楽しむ。</li> <li>・ 手指が細かく動くようになり、つまんだり握ったりなど、手指を使った遊びを繰り返し楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者や友達と一緒にいることに安心しながら、一人一人が好きな玩具や興味のあることをじっくりと楽しめる環境づくりをする。</li> </ul>
<p>健やかなのびのびのび育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人で立ったり歩くようになったりして、自分が興味を持った方に探索しようとする。</li> <li>・ 好きな歌や音楽に合わせて、体を揺らして楽しむ。</li> <li>・ 離乳食から乳児食へと移行する。歯や歯茎で咀嚼して食べようとする。</li> <li>・ こぼしたり口に詰め込みすぎたりしながらも、スプーンやフォークを持って食べようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転倒や怪我に注意をし、安全な場所でたくさん歩き、体を動かす楽しさが味わえるようにする。</li> <li>・ 自分で食べやすいように、食材の形や大きさを工夫する。</li> <li>・ 自分で食べようとする気持ちを大切ににし、喜んでいろいろな食品が食べられるようにする。</li> <li>・ 排泄面では、個人差に留意して自立を焦らずゆったりと関わるようにする。</li> </ul>								
<p>身近な人と気持ちが通じ合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心できる保育者の見守りの中で、身の回りの大人や友達に関心を持ち、真似たり関わったりする。</li> <li>・ 単語や指さしで伝えようとする。</li> <li>・ 保育者とのかかわりの中で、共感してもらうことを喜び、そのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玩具の取り合いなどが起こった際には、子どもの思いを受け止め、気持ちを言葉にしたり、遊びが満足するように環境を工夫したりする。</li> <li>・ 指さしや表情、喃語等を保育者が受け止め、共感し、子どもの伝えたい思いを膨らませていくように心がける。</li> </ul>								
<p>身近なものとの関わり感性が育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きな歌や音楽に合わせて、体を揺らして楽しむ。</li> <li>・ 手指が細かく動くようになり、つまんだり握ったりなど、手指を使った遊びを繰り返し楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者や友達と一緒にいることに安心しながら、一人一人が好きな玩具や興味のあることをじっくりと楽しめる環境づくりをする。</li> </ul>								
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育参加などを通して子どもの姿とともに、園の方針や保育者の願いなども分かりやすく発信する。</li> <li>・ 叩くことや嘔むが増えてくるのは、十分に言葉で表現できないためであることを知らせると共に、思いに共感することの大切さを繰り返し伝える。</li> </ul>									

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

# 1歳児

養 護	生命の 保持	清潔で安全な環境を整え、生理的欲求を満たし、生活リズムの形成を促す。
	情緒の 安定	一人一人の気持ちを理解・受容し、温かな関わりの中で信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。

I 期 『保育者との関わりの中で、安心して過ごすことを大切にする時期』

II 期 『安心感を土台にし、身近な人や物への興味を育む時期』

III 期 『大好きな人との関係の中で、自己主張を豊かにする時期』

IV 期 『“いっしょ” を楽しみ人との関わりが広がる時期』

1歳児教育・保育課程 I期 (4月・5月)

保育者との関わりの中で、安心して過ごすことを大切にする時期				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れない環境の中で不安になるが一人一人の姿に応じて関わってもらう中で好きな玩具や場所を見つけて遊びだすようになる。</li> <li>生活空間が広がり、手を使ったり、思いを表したりして探索活動が活発になる。</li> <li>身近な人や身の回りにある物に自分から近づいたり、手にとって遊んだりする。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境や保育者に親しむ中で、気に入った玩具や場所を見つけて安心して生活する。</li> <li>様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気のもとで食事を楽しむ。</li> <li>園内や園庭で保育者と一緒に探索活動などを楽しむ。</li> </ul>			
内容 (養護の視点・教育の視点)	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の生理的欲求が十分に満たされ、心地よく生活する。</li> <li>楽しい雰囲気の中で食事やおやつを食べる。</li> <li>おむつやパンツを交換してもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>保育者に抱っこしてもらったり体をさすってもらったりして安心して入眠する。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の生活の流れや習慣を大切にし、子どもが見通しをもてるような生活リズムや環境を作るようにする。</li> <li>食事は、一人一人の好みや様子を把握し、同じ保育者と決まった場所で、落ち着いた雰囲気ですべられるようにする。</li> <li>おむつ交換や排泄は、安心感や排尿リズムにつながるよう同じ場所や手順とする。</li> <li>保育者がそばにつき安心して眠れるようにする。</li> <li>一人一人の状態に合わせ、適切な休息や睡眠がとれ、快適に過ごせるようにする。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者と触れ合ったり、言葉をかけてもらったりして、一緒に過ごす心地よさを感じる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの気持ちを受容し、応答的にゆったりと関わるようにする。</li> <li>できるだけ同じ保育者がかかわることで信頼関係を築く。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外で草花や虫など身の回りのものに興味をもち、見たり、触れたりして探索遊びを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>探索活動が活発になってくると行動範囲が広がり危険を伴うことがあるので、遊具、用具などの環境や保育者等の位置に気を配り安全に遊べるようにする。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>指さしや身振り、簡単な言葉で話し、思いを伝えようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの表情や身振りで伝えようとする気持ちに言葉を添えるなど丁寧にかかわる。</li> <li>子どもの表情や反応をみながら子どもの思いを言葉にしたり共感したりする。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li> <li>保育者に歌やわらべ歌をうたってもらったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして遊ぶ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>心地よい音楽や楽しいリズムを取り入れ、保育者と一緒に思い思いに体を動かすことを楽しめるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>登降園時や連絡ノート、懇談会などを通して子どもの様子を伝え、家庭での様子や保護者の悩みや不安などを受け止め、信頼関係を築いていく。</li> <li>離乳食の状況や睡眠のリズムなど家庭の様子を聞いたり、園での様子を話したりして連携を図る。</li> <li>保育者間で、一人一人についての情報を正しく共有し、健康面(体調やけが等についてだけでなく、その日の様子)を保護者に直接伝えるよう工夫する。</li> <li>園と家庭が同じ思いで子どもの成長を支えられるように懇談会やホームページ、お便りなどを活用し、子どもやクラスの様子を知ってもらうとともに、園の方針や教育、保育のねらいを分かりやすく発信する。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。



1歳児教育・保育課程 II期（6月、7月、8月）

安心感を土台にし、身近な人や物への興味を育む時期

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つまむ、めくる、通す、はずす、なぐり描きをする、転がす、スプーンを使う、コップを持つなど、保育者の援助のもとで指を使って遊んだり、生活したりするようになる。</li> <li>・大人の言うことが分かるようになり、片言を使ったり、言葉で言い表せないことは、指さしや身振りなどで示そうとしたりする。</li> <li>・自分の思いを身近な保育者に伝えたいという気持ちが次第に高まってくる。</li> </ul>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅雨期から夏にかけて気持ちよく過ごす。</li> <li>・身の回りの簡単なことに興味を持ち、保育者に手伝ってもらいながらやってみようとする。</li> <li>・保育者と一緒に夏の遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>	
<p>内容（養護の視点・教育の視点）</p>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気の中で食事やおやつを食べる。また、つまんだり、スプーンを使ったりして食べようとする。</li> <li>・優しく言葉を掛けてもらいながら、おむつやパンツを交換しきれいになった心地よさを感じる。</li> <li>・保育者と一緒に衣服の着脱をしようとする。</li> <li>・適切な休息や睡眠をとり、快適に過ごそうとする。</li> <li>・登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなどの体を動かす遊びや、触れる、たたく、つまむ、転がすなどの手や指を使う遊びを楽しむ。</li> </ul> <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達のすることをまねて、自分もしてみようとする。</li> </ul> <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室や園庭など身近なところを十分に探索し、色々な物に興味をもつ。</li> </ul> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指さしや身振り、簡単な言葉などで思いを伝えようとし、保育者と物を介してやりとりを楽しむ。</li> <li>・絵本を見たり読んでもらったりすることを喜ぶ。</li> </ul> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に歌や簡単な手遊び、体を動かす遊びを楽しむ。</li> <li>・色々な素材に触れ、感触遊びやなぐり描きなどを楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事や身の回りのことを自分でやりたいという気持ちを受け止めながら関わる。</li> <li>・エアコンを使用する時は、外気温との差に気をつけ換気をするなど快適に過ごせるようにする。</li> <li>・水分補給を心がけ、戸外では日よけをつくるなど熱中症に気をつける。</li> <li>・水遊びやプール遊びが始まるので、周辺や遊具、用具など危険のないよう安全点検をしたり、保育者の配置を工夫したりし、安全に遊べるよう配慮する。</li> <li>・子どもの発達や興味に合わせて遊具を調節したり、入れ替えたりする。</li> <li>・月齢差を考慮し、それぞれがじっくり遊べるようにコーナーや遊具の配置を考える。</li> <li>・感触遊びや水遊びは苦手な子どもには、その子どもに合ったペースで楽しめるように関わる。</li> <li>・「じぶんで」という思いをくみ取り、ゆったりとした関わりの中で自我を育てていく。</li> <li>・「おもしろかった」という気持ちが十分に満たせるような関わりや、時間の保障をしていく。</li> <li>・安全で活動しやすい環境を整えるとともに、保育者自らも感受性を豊かにし、子どもの思いを受け止めていねいにかかわる。</li> <li>・子どもの感じたことに対して、タイミングよく言葉を返すことで、言葉の獲得や受け止めてもらうことの嬉しさを感じられるようにする。</li> <li>・子どもが好きな絵本や繰り返しのある絵本を用意し、一緒に見ながら楽しめるようにする。</li> <li>・のびのびと全身を使って遊べるように環境を整える。</li> <li>・アレルギーなどに配慮し、安全な素材を使用する。</li> </ul>
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者等間で、一人一人の情報を正しく共有し、その日の様子を保護者に直接伝えるように工夫する。</li> <li>・生活リズムが整いにくい時は、家庭と連携しながら安定して過ごせるように配慮する。</li> <li>・在園時間の長い子どもには、疲れや不安が少なくなるようにゆったりと過ごせるように配慮する。</li> <li>・体温等を記入する健康観察表を毎日記入してもらい、安全に水遊びやプール遊びが楽しめるように家庭と連携する。</li> <li>・園で流行している感染症についての情報は早めに知らせ、子どもの体調などこまめに連絡し合う。</li> </ul>	

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

1歳児教育・保育課程 III期（9月、10月、11月）

大好きな人との関係の中で、自己主張を豊かにする時期

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の援助のもと、スプーンを持って自分で食べようとしたり、オマルや便器に座ったりする。</li> <li>・見立てて遊ぶようになり、覚えた言葉を使って遊ぼうとする。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことに興味をもち、少しずつ自分でしてみようとする。</li> <li>・保育者と一緒に体を動かしてのびのびと遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・自分の思いや要求を身振りや表情、言葉で伝えようとする。</li> </ul>			
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の流れが分かり、安心して過ごす。</li> <li>・楽しい雰囲気の中で、スプーンを使って食べることに満足感を味わう。</li> <li>・尿や便が出たら言葉や動作で知らせようとする。また、オマルや便器に座ることに慣れる。</li> <li>・顔や手足が汚れた時は、保育者と一緒にきれいにしようとする。</li> <li>・衣服の着脱に興味を持ち、保育者に手伝ってもらいながら、自分でできた喜びを感じる。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して、体を十分に動かすことを楽しむ。（遊具で遊ぶ、砂遊びをする、歩く、走る、坂道や段差を上り下りするなど）</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の生活の流れや習慣を大切にし、子どもが見通しをもてるような生活リズムや環境をつくるようにする。</li> <li>・生活リズムに配慮し、一人一人安心して食べられるように小人数で、決まった場所で同じ保育者が関わる。</li> <li>・一人一人の自分でやりたいという気持ちを受け止めながら関わる。</li> <li>・排泄は、安心感や排尿リズムにつながるように同じ場所や手順でする。</li> <li>・手洗いや着替えの手順がわかるように声をかけたり、保育者と一緒に行ったりする。</li> <li>・子どもの発達や興味に合った玩具を用意する。また、一人一人が満足して遊べるように、十分な量の玩具を用意する。</li> <li>・いろいろな物に興味や関心がもてるよう、子どもの思いを受け止めたり、共感したりする。</li> <li>・思いどおりにいかないことがあった時は、思いを受け止め、代弁し気持ちに寄り添う。</li> <li>・子どものつぶやきや指差しを受け止め応答的にかかわる。</li> <li>・保育者も子どもと一緒に歌ったり、踊ったりして体を動かすことを楽しめるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者等間で、一人一人の子どもについて情報を正しく共有し、健康面（体調やけがなど）についてだけでなく、その日の様子を保護者に直接伝えるように工夫する。</li> <li>・夏の疲れが出やすい時期なので、食欲、睡眠、機嫌などの健康状態を丁寧に伝え合い体調の変化を見逃さないようにする。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

1 歳児教育・保育課程 IV期（12月、1月、2月、3月）

“いっしょ”を楽しみ人との関わりが広がる時期

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとするが増える。</li> <li>・保育者が一緒に遊ぶことで友達と同じことをしたり、やりとりしたりすることを喜ぶ。</li> <li>・追いかけたり、走ったりすることを喜び動きが活発になる。</li> </ul>			
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・保育者と一緒に冬の自然に触れながら戸外遊びを楽しむ。</li> <li>・保育者を仲立ちにして周りの人と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>			
<p>内容（養護の視点・教育の視点）</p>	<p>健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気の中で、スプーンを使って意欲的に食べようとする。</li> <li>・顔や手足が汚れたことに気付き、保育者と一緒にきれいにしようとする。</li> <li>・尿や便が出たら言葉や動作で知らせようとし、促されてオマルや便器で排泄しようとする。</li> <li>・衣服の着脱に興味をもち、自分でしようとする。また、自分の物を片付けようとする。</li> <li>・戸外や室内での粗大遊びを通して、体を十分に動かす。(階段の上り下りやでこぼこ道、坂道、トンネルなど)</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事や排泄、身の回りのことなどを自分でしようとする自己主張を受け止め、見届ける。</li> <li>・感染症予防のために、室温や衣服の調整、換気等に留意する。</li> <li>・手洗いの手順が分かるように、声を掛けたり、一緒に行ったりする。</li> <li>・鼻汁がでた時は、声を掛けながら拭き取り、心地よさに共感する。</li> <li>・一人一人の排尿間隔を踏まえ、オマルや便器での排泄に慣れるようにする。</li> <li>・動きが活発になり、いろいろなことに興味をもち、自ら関わろうとすることを認めるとともに、室内外の遊具や用具の安全点検を日々行い、安全面に留意する。</li> </ul>
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末年始の家庭での様子を聞きながら、一人一人の保護者と話す時間をもち、生活リズムを整えられるようにする。また安心して進級ができるように進級に向けての不安などを聞きながら、保護者とコミュニケーションを図る。</li> <li>・インフルエンザや冬の感染症の情報を知らせるとともに、健康観察を丁寧に行うなど体調の変化に注意する。</li> </ul>			

人間関係

環境

言葉

表現

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

# 2歳児

養 護	生命の 保持	安全で快適な生活環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育てる。
	情緒の 安定	様々な自己主張を受け止め、一人一人の気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。

I 期 『新しい生活や保育者に慣れ、自分でしようとする気持ちを大切にする時期』

II 期 『「自分で」という気持ちをもって保育者や身近な人に興味や関心を示す時期』

III 期 『興味のあることに「やってみたい」という思いをもつ時期』

IV 期 『「自分でしたい」「自分でできた」を感じる時期』

2歳児教育・保育課程 I期（4月、5月）

新しい生活や保育者に慣れ、自分でしようとする気持ちを大切にする時期

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園、進級し、新しい環境に関心をもつが戸惑ったり、不安になったりする姿も見られる。</li> <li>・歩行が安定し、走る、跳ぶなどの全身を使う遊びを楽しんでいる。</li> <li>・保育者との関わりの中で一緒に好きな玩具で遊んだり、戸外で散策を楽しんだりする。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の生活リズムに慣れ、健康に過ごす。</li> <li>・新しい保育者や身近な友達に親しみ、安心して過ごす。</li> <li>・保育者と一緒に好きな遊びをしたり、身近な自然に触れたりすることを楽しむ。</li> </ul>		
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことに関心をもち、保育者と一緒にやってみようとする。</li> <li>・スプーンやフォークを使って自分で食べようとする。</li> <li>・遊びの後や食事の前に保育者と一緒に手を洗う。</li> <li>・保育者に促されてトイレに行き排泄しようとする。</li> <li>・衣服の着脱のできる場所は自分でしようとする。</li> <li>・安心して午睡をし、体を休める。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の生活の流れや習慣を大切にし、子どもが見通しをもてるような生活リズムや環境を作るようにする。</li> <li>・生活の見通しがもてるように一人一人に言葉をかけながら保育者が関わるようにする。</li> <li>・前年度の担任や保護者から子どもの状態を聞いたり、児童票で一人一人の発達段階や生活習慣を共有したりして同じ思いで関わる。</li> <li>・食事や排泄、衣服の着脱などは子どものペースやタイミングを大切にし、一人一人のしようとする気持ちを十分に認め、丁寧に関わる。</li> <li>・不安や戸惑いを十分理解し、安心できるように一人一人の思いに寄り添いながら温かく関わる。</li> <li>・身近な自然や動植物に触れ合う機会をもち、保育者が一緒に見たり触れたりする。</li> <li>・思いや言葉を受け止め、丁寧に言葉をかけることで、言語化や意味づけをしていく。</li> <li>・保育者は子どもと楽しさを共有しながら、日常的に繰り返し慣れ親しめるようにする。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や身近な友達の近くで過ごすことを楽しむ。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室や園庭に慣れ、気に入った場所やもので遊ぶ。</li> <li>・園庭の動植物を見たり、散歩に出かけたりして、身近な春の自然に親しむ。</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者からの話しかけを喜んだり、絵本やお話などを通して簡単な言葉に親しんだりする。</li> <li>・したいことやしてほしいことを保育者に態度や言葉で表す。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な歌や手遊び、模倣遊びなどを楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に身近な材料を使って、描いたり作ったりすることを楽しむ。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登降園時や連絡ノートを通して子どもの様子を伝え、家庭での様子や保護者の思いを受け止め、保護者が安心感を持ち、園と共に子育てをしようという思いがもてるように信頼関係を築いていく。</li> <li>・保育者間で子どもの情報を正しく共有し、その日の様子を保護者に直接伝えられるようにする。</li> </ul>		



## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

2歳児教育・保育課程 II期（6月、7月、8月）

「自分で」という気持ちをもって保育者や身近な人に興味や関心を示す時期

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走ったり、跳んだり等いろいろな運動遊びを楽しむようになる。</li> <li>・語彙が増え、簡単な言葉で自分の要求を伝えられるようになる。</li> <li>・行動範囲が広がり、友達のしていることに興味をもち、近づいたり関わったりする。</li> </ul>		
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休息や水分を十分にとりながら夏を健康に過ごせるようにする。</li> <li>・保育者に見守られながら簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・砂、土、水を使って夏の遊びを楽しむ。</li> </ul>		
<p>内容（養護の視点・教育の視点）</p>	<p>健康</p> <p>人間関係</p> <p>環境</p> <p>言葉</p> <p>表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークの使い方に慣れ、食べることを楽しむ。</li> <li>・食後のうがいの仕方を知り、やろうとする。</li> <li>・保育者に見守られてトイレで排泄をしようとする。</li> <li>・簡単な衣服の着脱を自分でしようとする。</li> <li>・安心して午睡をし、体を休める。</li> <li>・友達のしていることに興味をもち、近づいたり関わったりする。</li> <li>・保育者の姿に興味をもち、同じようにやってみようとする。</li> <li>・夏野菜や花、小動物や虫などに興味をもち見たり触れたりする。</li> <li>・生活や遊びの中で保育者や友達に自分なりの言葉で思いを伝えようとする。</li> <li>・水、砂、土、粘土、絵の具などに触れ、感触を楽しむ。</li> <li>・簡単な歌や手遊び、身体表現などを楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑い夏を快適に過ごせるように保健的で安全な環境を整える。</li> <li>・子どもの気持ちを尊重し、応答的に関わる。</li> <li>・喜んで食事ができるように一人一人に合わせ食事量を加減し食べられた満足感に共感する。</li> <li>・排泄や着脱は自分でしようとする姿を見守り、必要に応じて手助けしたり認めたりする。</li> <li>・室温や湿度に注意し、換気をしたり、エアコンを使用したりして心地よく過ごせるようにする。</li> <li>・友達に関心をもつ姿を見守りつつ、自分なりの楽しみ方で繰り返し遊ぶ姿を大切に受け止めていく。</li> <li>・身近な夏の自然に触れる機会をもち、保育者が一緒に見たり触れたりする。</li> <li>・一人一人の思いに応え、安心して自己表出できるようにする。</li> <li>・保育者は子どもの気付きを受け止め、共感しながら一緒に遊ぶようにする。</li> <li>・親しみやすい歌やリズム遊びを取り入れる。</li> </ul>
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分でしたい。」という子ども達の思いを保護者と共有し、園と家庭が連携を図りながら関わるようにする。</li> <li>・汗をかいたり、濡れたりして着替える機会が多くなるので衣服は着脱しやすいものを多めに用意してもらおう。</li> <li>・暑さによる疲れが出たり、食欲が落ちたりする時期なので園での様子を連絡ノートなどで丁寧に知らせ、子どもの健康状態を互いに把握できるようにする。また、感染症の情報などは適切に伝えるようにする。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

2歳児教育・保育課程 Ⅲ期（9月、10月、11月）

興味のあることに「やってみよう」という思いをもつ時期

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを身近な人に自分なりの言葉で伝えようとする。</li> <li>・自分でできることが増えて、満足感や達成感を味わう姿が見られる。</li> <li>・言葉の繰り返しのある絵本を好み、真似て言ったり、簡単な言葉のやりとりを楽しんだりしている。</li> </ul>		
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具や運動用具を使い、保育者と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・身近な人や遊びに興味をもち、見たり真似たりする。</li> </ul>		
<p>内容（養護の視点・教育の視点）</p>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを下手持ち、または三点持ちで食べようとする。</li> <li>・保育者と一緒に手洗いうがいをしようとする。</li> <li>・保育者に誘われ、尿意・便意を感じてトイレで排泄しようとする。</li> <li>・保育者と一緒に衣服を自分で着脱したりたんだりしようとする。</li> <li>・園庭でのかけっこやリズム遊び、運動遊びなど体を動かす楽しさを味わう。</li> </ul> <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な友達の遊びに興味をもち、一緒に遊んだり、模倣したりして関わろうとする。</li> <li>・保育者と一緒に友達との関わり方を少しずつ身に付ける。</li> </ul> <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち葉や木の実などを見つけたり、集めたりして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して身近な秋の自然に触れ親しむ。</li> </ul> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と簡単な見立て遊びをしながら言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>・保育者に絵本を読んでもらったり、見たり聞いたりして絵本に親しみをもつ。</li> </ul> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な素材や用具に触れて遊ぶことを楽しむ。（絵の具・クレヨン・水性ペン等）</li> <li>・歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事・手洗い・排泄など一人一人が生活に見通しをもって自分でできるように保育者が連携しながら認めたり、励ましたりして丁寧に関わる。</li> <li>・体を動かして遊ぶ心地よさや満足感が味わえるように遊具を用意したり子どもの思いに共感したりする。</li> <li>・トラブルになった場合は、互いの気持ちを受容し、仲立ちをしながら関わり方を知らせる。</li> <li>・見つけた自然物を保育室に飾り季節を感じられるようにする。</li> <li>・戸外への散歩など秋の自然に触れる機会をもつ。</li> <li>・保育者も一緒に見立てて遊んだり、つもりになって遊んだりしながら言葉のやりとりが広がるように子どもの思いに寄り添いながら関わる。</li> <li>・描いたり作ったりすることが十分に楽しめるように様々な素材や用具を準備する。</li> <li>・保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさが感じられるように子ども達の興味や発達に応じた内容の音楽やリズム遊びを準備する。</li> </ul>
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間にゆとりをもって、自分でしようとする姿を見守ったり受け止めたりしてもらえるように伝える。また、自分で着脱しやすい衣服を用意してもらう。</li> <li>・朝夕の気温差が大きいので調節しやすい服装を準備してもらえるように知らせる。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

2歳児教育・保育課程 IV期（12月、1月、2月、3月）

「自分でしたい」「自分でできた」を感じる時期

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを出して遊びを楽しむようになり、自己主張をする。</li> <li>・運動機能が高まり、体を動かして遊ぶことが楽しくなってくる。</li> <li>・好きな遊びをじっくりと楽しむ姿が見られる。</li> <li>・一つ大きくなることに期待をもちながら過ごしている。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の自然事象に興味や関心をもち、見たり触れたりしながら親しむ。</li> <li>・自分の思いを出しながら好きな遊びを十分に楽しむ。</li> <li>・保育者や友達に親しみを感じ、一緒に過ごす心地よさを味わう。</li> </ul>			
内容（養護の視点・教育の視点）	<p>健康</p> <p>人間関係</p> <p>環境</p> <p>言葉</p> <p>表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食器に手を添えて食べたり、食後におしぼりで口や手を拭こうとしたりする。</li> <li>・鼻水が出たことに気づき、拭こうとする。</li> <li>・手洗い、うがいを自分でしようとする。</li> <li>・尿意や便意を感じて自分で排泄しようとする。</li> <li>・保育者と一緒に衣服を自分で着脱したり、たたんだりする。</li> <li>・保育者や友達と簡単な見立て遊びや身近なものになりきる遊びを楽しむ。</li> <li>・身近な自然事象（雪・霜・氷等）に触れて遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・戸外遊びを通して冬の寒さや春の暖かさを感じる。</li> <li>・簡単な正月遊びを楽しむ。（こま回し・たこあげ・絵合わせ等）</li> <li>・見たこと、感じたこと、体験したことを保育者や友達に喜んで話したり、人の話に興味をもって聞いたりする。</li> <li>・保育者や友達と簡単な言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>・保育者や友達と一緒に簡単な真似っこ遊びや表現遊びを楽しむ。</li> <li>・歌ったり、曲に合わせて表現したりすることを楽しむ。</li> </ul>	<p>援助と環境の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が連携しながら、食事、着脱、手洗い、排泄など一人一人の子どもが生活に見通しをもって自分できるようにさりげなく援助し、できた喜びに共感する。</li> <li>・自分の思いを十分に表出する姿を受け止め、トラブルになった場合は、互いの気持ちを受容し、代弁する。</li> <li>・雪や霜、氷など冬の自然現象に触れる機会を逃さず、遊びに取り入れる。</li> <li>・簡単な正月遊びに親しめるように、手回しゴマや凧等を準備し、環境を整える。</li> <li>・保育者が子どもの発する言葉に丁寧に耳を傾け、応答的なやりとりを重ねながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたりしようとする意欲を育む。</li> <li>・行事や季節が感じられるような絵本を準備し、繰り返し読み聞かせる。</li> <li>・安心して自分を表現できるように、子ども達と楽しさを共有する。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でしようとする気持ちやできたという喜びが感じられるように家庭でもゆったりと関わってもらうようにする。</li> <li>・嘔吐、下痢、インフルエンザ等の流行を知らせ、家庭でも予防に努めてもらう。</li> <li>・厚着にならないように気温や遊びに応じて調節しやすい衣服を用意してもらう。</li> <li>・進級に向けての不安などを聞き、保護者とコミュニケーションを図り、安心して進級できるようにする。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

# 3歳児

養 護	生命の 保持	衣類の着脱や食事、排泄等の生活に必要な活動を自分でしようとする気持ちをもてるように援助する。
	情緒の 安定	自我の形成とともに、子どもの気持ちや考えを受容し、主体的な行動を促していく。

I 期 『安心できる人やもの、場所を見つけて、新しい環境に慣れていく時期』

II 期 『周りの様子や友達の変化を感じながら、自分のしたいことに向かう時期』

III 期 『興味や関心を広げながら、自分から周りの環境に関わろうとする時期』

IV 期 『遊びや場を共有し、友達と一緒にしたい気持ちが高まる時期』



3歳児教育・保育課程 I期 新入児（4月、5月）

安心できる人やもの、場所を見つけて、新しい環境に慣れていく時期																				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に興味や関心をもつものの、戸惑いや不安、緊張感をもつ姿が見られる。</li> <li>・先生に一对一の関わりを求め、その中で不安を解消し、安心して過ごすようになる。</li> <li>・生活の流れが分かってくると、先生と一緒に、少しずつ身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>																			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを保育者と一緒にしようとする。</li> <li>・先生と一緒に好きな遊びを見つける。</li> <li>・園生活の流れが分かり、安心して過ごす。</li> </ul>																			
内容（養護の視点・教育の視点）	<table border="1"> <tr> <td>健康</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喜んで登園し、自分の好きな人や場所をよりどころとして安心して過ごす。</li> <li>・生活の仕方を知り、自分でできることをしようとする。</li> </ul> </td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle; text-align: center;">援助と環境の構成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの緊張が和らぐよう、家庭的な雰囲気や大事にした保育室の環境をつくる。</li> <li>・生活の流れをなるべく変えず、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・生活の流れが分かり、身の回りのことが自分でできるよう、様々な生活経験や個人差に応じて、丁寧に関わる。</li> <li>・戸外で過ごす時間を確保し、心の安定を図る。</li> <li>・一人一人の思いを受け止め応答的な関わりを通して安心して過ごせるように信頼関係を築く。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>人間関係</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・促されたり周りの様子を見たりしてトイレで排泄しようとする。</li> <li>・必要に応じて援助を受けながら、自分で着脱しようとする。</li> <li>・戸外で遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安心して好きな遊びを見つけられるように興味や関心に応じた玩具、家庭にある身近な玩具を準備する。</li> <li>・自分の思いを出している姿を受け止め、思いに寄りそったり代弁したりする。</li> <li>・親しみやすい内容の絵本を繰り返し読み聞かせる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・促されたり周りの様子を見たりしてトイレで排泄しようとする。</li> <li>・必要に応じて援助を受けながら、自分で着脱しようとする。</li> <li>・戸外で遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き慣れた歌や手遊びなどを用意し、関心をもったり親しみを感じたりできるようにする。</li> <li>・身近な素材に存分に関わられるよう、数や量を準備する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>言葉</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友達の顔やマークを覚え、関心をもつ。</li> <li>・保育者との触れ合いを通して親しみをもつ。</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>表現</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な動植物に関心をもち、見たり触ったりする。</li> <li>・身近な遊具や玩具、自然に興味をもち、気に入ったもので繰り返し遊ぶ。</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>家庭との連携</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者の戸惑いや不安を受け止め安心につながるよう園の様子を具体的に伝え、信頼関係を築く。</li> <li>・一日の生活リズム（早寝・早起き・食事など）が整うよう、家庭へ啓発する。</li> <li>・身の回りの始末や生活習慣においては、子どもの実態を共通理解し、家庭生活においても自立に向かえるようにする。</li> </ul> </td> <td></td> </tr> </table>	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜んで登園し、自分の好きな人や場所をよりどころとして安心して過ごす。</li> <li>・生活の仕方を知り、自分でできることをしようとする。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの緊張が和らぐよう、家庭的な雰囲気や大事にした保育室の環境をつくる。</li> <li>・生活の流れをなるべく変えず、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・生活の流れが分かり、身の回りのことが自分でできるよう、様々な生活経験や個人差に応じて、丁寧に関わる。</li> <li>・戸外で過ごす時間を確保し、心の安定を図る。</li> <li>・一人一人の思いを受け止め応答的な関わりを通して安心して過ごせるように信頼関係を築く。</li> </ul>	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・促されたり周りの様子を見たりしてトイレで排泄しようとする。</li> <li>・必要に応じて援助を受けながら、自分で着脱しようとする。</li> <li>・戸外で遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安心して好きな遊びを見つけられるように興味や関心に応じた玩具、家庭にある身近な玩具を準備する。</li> <li>・自分の思いを出している姿を受け止め、思いに寄りそったり代弁したりする。</li> <li>・親しみやすい内容の絵本を繰り返し読み聞かせる。</li> </ul>	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・促されたり周りの様子を見たりしてトイレで排泄しようとする。</li> <li>・必要に応じて援助を受けながら、自分で着脱しようとする。</li> <li>・戸外で遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き慣れた歌や手遊びなどを用意し、関心をもったり親しみを感じたりできるようにする。</li> <li>・身近な素材に存分に関わられるよう、数や量を準備する。</li> </ul>	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友達の顔やマークを覚え、関心をもつ。</li> <li>・保育者との触れ合いを通して親しみをもつ。</li> </ul>		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な動植物に関心をもち、見たり触ったりする。</li> <li>・身近な遊具や玩具、自然に興味をもち、気に入ったもので繰り返し遊ぶ。</li> </ul>		家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者の戸惑いや不安を受け止め安心につながるよう園の様子を具体的に伝え、信頼関係を築く。</li> <li>・一日の生活リズム（早寝・早起き・食事など）が整うよう、家庭へ啓発する。</li> <li>・身の回りの始末や生活習慣においては、子どもの実態を共通理解し、家庭生活においても自立に向かえるようにする。</li> </ul>	
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜んで登園し、自分の好きな人や場所をよりどころとして安心して過ごす。</li> <li>・生活の仕方を知り、自分でできることをしようとする。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの緊張が和らぐよう、家庭的な雰囲気や大事にした保育室の環境をつくる。</li> <li>・生活の流れをなるべく変えず、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・生活の流れが分かり、身の回りのことが自分でできるよう、様々な生活経験や個人差に応じて、丁寧に関わる。</li> <li>・戸外で過ごす時間を確保し、心の安定を図る。</li> <li>・一人一人の思いを受け止め応答的な関わりを通して安心して過ごせるように信頼関係を築く。</li> </ul>																	
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・促されたり周りの様子を見たりしてトイレで排泄しようとする。</li> <li>・必要に応じて援助を受けながら、自分で着脱しようとする。</li> <li>・戸外で遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安心して好きな遊びを見つけられるように興味や関心に応じた玩具、家庭にある身近な玩具を準備する。</li> <li>・自分の思いを出している姿を受け止め、思いに寄りそったり代弁したりする。</li> <li>・親しみやすい内容の絵本を繰り返し読み聞かせる。</li> </ul>																	
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・促されたり周りの様子を見たりしてトイレで排泄しようとする。</li> <li>・必要に応じて援助を受けながら、自分で着脱しようとする。</li> <li>・戸外で遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き慣れた歌や手遊びなどを用意し、関心をもったり親しみを感じたりできるようにする。</li> <li>・身近な素材に存分に関わられるよう、数や量を準備する。</li> </ul>																	
言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友達の顔やマークを覚え、関心をもつ。</li> <li>・保育者との触れ合いを通して親しみをもつ。</li> </ul>																			
表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な動植物に関心をもち、見たり触ったりする。</li> <li>・身近な遊具や玩具、自然に興味をもち、気に入ったもので繰り返し遊ぶ。</li> </ul>																			
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者の戸惑いや不安を受け止め安心につながるよう園の様子を具体的に伝え、信頼関係を築く。</li> <li>・一日の生活リズム（早寝・早起き・食事など）が整うよう、家庭へ啓発する。</li> <li>・身の回りの始末や生活習慣においては、子どもの実態を共通理解し、家庭生活においても自立に向かえるようにする。</li> </ul>																			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

3歳児教育・保育課程 I期 進級児（4月、5月）

安心できる人やもの、場所を見つけて、新しい環境に慣れていく時期		
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級した喜びを感じ、新しい環境に興味や関心をもつ姿がある。半面、戸惑いや不安、緊張感をもつ姿も見られる。</li> <li>・先生に一对一の関わりを求め、その中で不安を解消し、安心して過ごすようになる。</li> <li>・生活の流れが分かってくると、先生と一緒に、少しずつ身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを保育者と一緒にしようとする。</li> <li>・先生と一緒に好きな遊びを見つける。</li> <li>・新しい生活リズムに慣れ、安心して過ごす。</li> </ul>	
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜んで登園し、自分の好きな人や場所をよりどころとして安心して過ごす。</li> <li>・楽しい雰囲気の中で先生や友達と一緒に食事をする。</li> <li>・必要に応じて援助を受けながら、自分で着脱しようとする。</li> <li>・戸外で遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友達の顔やマークを覚え、関心をもつ。</li> <li>・先生や顔なじみの友達と過ごすことを喜ぶ。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な動植物に関心をもち、見たり触ったりする。</li> <li>・身近な遊具や玩具、自然に興味をもち、気に入ったもので繰り返し遊ぶ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・したいことやしてほしいことを周りの人に言葉や動作で伝えようとする。</li> <li>・絵本や紙芝居に興味をもち、見たり聞いたりして楽しむ。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている歌を歌ったり、先生の真似をして簡単な手遊びや体操をしたりする楽しさを感じる。</li> <li>・身近な素材や用具に触れて遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの緊張感が和らぐような保育室の環境をつくる。</li> <li>・生活の流れが分かり、身の回りのことが自分でできるよう、様々な生活経験や個人差に応じて丁寧に関わる。</li> <li>・一人一人の思いを受け止め応答的な関わりを通して安心して過ごせるように信頼関係を築く。</li> <li>・子どもが安心して好きな遊びを見つけられるように興味や関心に合った玩具、家庭にある身近な玩具を準備する。</li> <li>・自分の思いを出している姿を受け止め、思いに寄りそったり代弁したりする。</li> <li>・親しみやすい内容の絵本を繰り返し読み聞かせる。</li> <li>・聴き慣れた歌や手遊びなどを用意し、関心をもったり親しみを感じたりできるようにする。</li> <li>・身近な素材に存分に関わられるよう、数や量を準備する。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化に伴う子どもや保護者の戸惑いや不安を受け止め安心につながるよう園の様子を具体的に伝え、信頼関係を築く。</li> <li>・一日の生活リズム（早寝・早起き・食事など）が整うよう、家庭へ啓発する。</li> </ul>	

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

3歳児教育・保育課程 II期 新入児（6月、7月、8月）

周りの様子や友達の存在を感じながら、自分のしたいことに向かう時期			
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活の流れや仕方が分かり、見守りの中で安心して自分でできることをしようとする。</li> <li>・友達の存在を感じ、友達と同じものがほしい、自分の思い通りに使いたいなどの理由で自己主張する姿が増える。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分のペースでしようとし、できた喜びを感じる。</li> <li>・自分の好きな遊びを見つけて、ものとの関わりを繰り返し楽しむ。</li> </ul>		
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ生活リズムや環境の中で安心し、周りの様子に興味をもったり真似たりする。</li> <li>・食事の準備や片付けの仕方が分かり、先生や友達と一緒に喜んで食べる。</li> <li>・身支度や衣服の着脱、排泄などを自分のペースでしようとする。</li> <li>・水遊びの楽しさを感じると共に、安全な遊び方を知り守ろうとする。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生活や遊びに向かう姿を見守りながら、自分なりにやってみようとする意欲を大切に、できた喜びに寄り添う。</li> <li>・食事の準備や片付けの仕方の手順は、実際に見せたり表示を使ったりして、目で見て分かりやすく知らせる。</li> <li>・暑い時期なので水分補給を促すと共に、休息を十分取れるようにする。</li> <li>・プール遊びが始まるまでに、段階を追って水と関わりながら遊ぶことができるように場を整える。</li> <li>・子どもが楽しさや喜びを感じられるよう、保育者も一緒に楽しんだり思いを共有したりする。</li> <li>・一人一人の思いを十分に受け止め、言葉にしながら寄り添う。</li> <li>・小動物や夏野菜などをよく見える場所で飼育、栽培し、興味や関心がもてるようにする。</li> <li>・気に入った感触や素材に触れ、繰り返し楽しめるような環境を整える。</li> <li>・子どもの言葉に丁寧に耳を傾け、伝える喜びや聞いてもらえた安心感をもてるように関わる。</li> <li>・幼児が体を動かしやすいようなリズムやスピードの曲を準備し、思わず保育者を真似てみたくなるようにする。</li> <li>・気持ちを解放して遊べるような素材や場を準備し、子どもからしげんと生まれる動きやリズムを保育者も一緒に楽しみながら、表現する喜びが味わえるようにする。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達と過ごす中で、様々な感情を体験しながら遊ぶ。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な小動物や自然に興味をもち、保育者と一緒に見たり触れたりする。</li> <li>・いろいろな素材や材料に触れたり感触を味わったりする。</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことや感じたことを自分なりの言葉や動作で伝えようとする。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌や手遊び、体操などを先生や友達と一緒にすることを楽しむ。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活に慣れ、緊張感が緩み、疲れが出始める頃なので、子どもの体調や怪我に気を付け、園での様子を家庭と連携する。また、感染症について知らせ、家庭でも体調管理をお願いし、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・活動が活発になり、発汗も多くなる時期なので、衛生面に気をつけ、一日を通して体調に配慮できるようにする。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

3歳児教育・保育課程 II期 進級児（6月、7月、8月）

周りの様子や友達の間を感じながら、自分のしたいことに向かう時期				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活の流れや仕方が分かり、見守りの中で安心して自分でできることをしようとする。</li> <li>・友達の間を感じ、友達と同じものがほしい、自分の思い通りに使いたいなどの理由で自己主張する姿が増える。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分のペースでしようとし、できた喜びを感じる。</li> <li>・周りの様子に興味をもって、ものとの関わりを楽しむ。</li> </ul>			
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ生活リズムや環境の中で安心し、周りの様子に興味をもったり真似たりする。</li> <li>・正しい食事の仕方を知り、保育者や友達と一緒に楽しく食事をする。</li> <li>・尿意を感じたら、自分でトイレに行き排泄しようとする。</li> <li>・身支度や衣服の着脱などを自分のペースでしようとする。</li> <li>・水遊びの楽しさを感じると共に、安全な遊び方を知り守ろうとする。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生活や遊びに向かう姿を見守りながら、自分なりにやってみようとする意欲を大切に、できた喜びに寄り添う。</li> <li>・暑い時期なので水分補給を促すと共に、休息を十分取れるようにする。</li> <li>・プール遊びが始まるまでに、段階を追って水と関わりながら遊ぶことができるように場を整える。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達と過ごす中で、様々な感情を体験しながら遊ぶ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが楽しさや喜びを感じられるよう、保育者も一緒に楽しんだり思いを共有したりする。</li> <li>・一人一人の思いを十分受け止め、言葉にしながら寄り添う。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な小動物や自然に興味をもち、先生と一緒に見たり触れたりする。</li> <li>・いろいろな素材や材料に触れたり感触を味わったりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小動物や夏野菜などをよく見える場所で飼育、栽培し、興味や関心をもてるようにする。</li> <li>・気に入った感触や素材に触れ、繰り返し楽しめるような環境を整える。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことや感じたことを自分なりの言葉や動作で伝えようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの言葉に丁寧に耳を傾け、伝える喜びや聞いてもらえた安心感をもてるように関わる。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌や手遊び、体操などを先生や友達と一緒にすることを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・擬音語を使って状況や気持ちを共有し、表現する喜びを味わえるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活に慣れ、緊張感が緩み、疲れが出始める頃なので、子どもの体調や怪我に気を付け、園での様子を家庭と連携する。また、感染症について知らせ、家庭でも体調管理をお願いし、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・活動が活発になり、発汗も多くなる時期なので、衛生面に気をつけ、一日を通して体調に配慮できるようにする。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。



3歳児教育・保育課程 Ⅲ期（9月、10月、11月、12月）

興味や関心を広げながら、自分から周りの環境に関わろうとする時期			
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の生活からの変化があり、不安定な姿が見られるが、先生や友達と関わりながら少しずつ園での生活を思い出す。</li> <li>音楽に合わせて体を動かしたり、全身を使っての遊びを喜んだりする。</li> <li>少しずつ周りへの興味が広がり、身近なものに触れたり確かめたりしながら繰り返し遊ぶ。</li> <li>自分のなりたいものになりきって遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲をもって身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>体を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを感じる。</li> <li>いろいろな遊びに興味をもち、先生や気に入った友達と遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>		
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活のリズムを取り戻し、先生や友達と一緒に安心して過ごす。</li> <li>食事、排泄、衣服の着脱など、自分でできることをしようとする。</li> <li>体操をしたり、リズムに合わせて動いたり、戸外で体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園生活のリズムを取り戻すまで、焦らずゆっくりと子どもに関わる。</li> <li>認めたり、励ましたり、手を添えたりしながら、身の回りのことが自分でできるように援助する。</li> <li>保育者も一緒に行うことで、体を動かす楽しさを感じられるようにする。</li> <li>友達との触れ合いの中で、保育者が仲立ちとなり、親しみの気持ちや楽しい思いがもてるようにする。</li> <li>園内外の身近な自然物や小動物に目を向け、興味をもてるように話題にしたり、場を整えたりする。</li> <li>保育者や友達と簡単なやりとりが楽しめるように共感したり仲立ちしたりする。</li> <li>音楽やリズムを身近に感じられるような場を整え、保育者も音やリズムを感じて遊ぶ楽しさを共有していく。</li> <li>素材そのものでイメージしたり、見立てたりすることに寄り添う。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友達の動きや楽しそうな雰囲気をつきかきにし、同じ場や用具で遊ぶ楽しさを感じる。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な秋の自然物や栽培物、小動物などを見たり、触れたりしながら興味をもつ。</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>見たこと、知っていること、思ったことを先生や友達に話そうとし、受け止めてもらう喜びを感じる。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽やリズムに関心をもち、音や体での表現を楽しむ。</li> <li>いろいろな素材や用具に親しみ、思いのままにかいたり、つくったりすることを楽しむ。</li> <li>身近なものを持ったり、身に着けたりしてなりきって遊ぶ。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>全身を使う遊びの大切さを伝えたり、戸外での活動的な遊びの様子を話したりして、家庭でも体調管理を十分にしてもらう。特に在園時間が長い子どもは、生活リズムや休息に配慮してもらう。</li> <li>感染症予防など健康な生活ができるよう基本的な生活習慣の確立の必要性について家庭に伝え、連携する。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

3歳児教育・保育課程 IV期（1月、2月、3月）

遊びや場を共有し、友達と一緒にしたい気持ちが高まる時期				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の流れが分かり、少しずつ見通しをもって自分のできることをしようとする。</li> <li>友達や先生に安心して関わり、自分の思いを伝えようとしたり、自由に表現することを楽しんだりするようになる。</li> <li>遊びの中で、順番を待ったり、遊具を一緒に使ったり、友達と分けたりするようになる。一方、思うように言葉で表現できなかつたり、思いが合わなかつたりすることからトラブルになる姿も見られる。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分ができることを意欲的に取り組もうとする。</li> <li>先生や友達と関わって遊ぶ中で、いろいろなことに興味を広げ、遊びを楽しむ。</li> <li>自然や生活の仕方の変化から、季節の移り変わりに気付く。</li> </ul>			
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの表出の仕方や思いを先生に十分に受け止めてもらいながら、安心して過ごす。</li> <li>健康に過ごすための冬の生活習慣について知る。</li> <li>冬の自然や寒さを感じながら、戸外で遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の表出の仕方や思いを十分に受け止め、成長や変容を言葉にして、安心につなげる。</li> <li>手洗い・うがい、衣服の調節など必要な生活習慣が身につくよう、繰り返し促す。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友達と一緒に、簡単な集団遊びを楽しむ。</li> <li>異年齢児のしていることに関心を持ったり、真似をしたりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の楽しみ方を受け止めると共に、群れて遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>雪や氷など、身近な冬の自然を見たり触れたり体で感じたりし、興味をもつ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の自然現象に興味をもてるよう、機会を逃さず発信したり、感じ方を受け止めたりしていく。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本やお話に親しみ、空想したり言葉のやりとりを楽しんだりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>思いを言葉で表現しようとする姿を受け止め、言葉を添えながら伝える喜びを感じられるようにする。</li> <li>繰り返しや単純な内容の話に親しむ機会を多くもち、言葉のリズムややりとりを楽しめるようにする。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話や体験をもとに、イメージをもち、なりきって遊ぶことを楽しむ。</li> <li>身近な素材や用具で、好きなものをつくったりかいたりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の子どもが声や動きでなりきって表現を楽しんだり表出したる姿を受け止め、保育者も一緒に素朴な表現を楽しむ。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症予防など、健康な生活ができるよう生活習慣確立や体調不良の際の十分な休息の必要性について家庭に伝え、理解や協力につなげる。</li> <li>具体的な姿から、子どもの育ちや変容を共有し、子どものよりよい成長につなげる方向性について、確認し合う。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

# 4歳児

養 護	生命の 保持	健康、安全な生活に必要な習慣に関心をもち、 自らできることの喜びを感じられるように支援 する。
	情緒の 安定	自分の力を発揮していく中で、達成感や満足感 を味わい、自己肯定感を育むとともに、他者を 受容する気持ちを育てる。

I 期 『好きな遊びや先生との触れ合いを通して新しい環境に慣れ親しむ時期』

II 期 『いろいろな遊びに興味をもち、先生や友達と触れ合うことを楽しむ時期』

III 期 『自分なりの目的をもって遊び、友達との関わりを楽しむ時期』

IV 期 『自分の目的やイメージをもって、友達と一緒に遊ぶことが楽しい時期』

V 期 『友達の思いを感じながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる時期』

4歳児教育・保育課程 I期（4月、5月）

好きな遊びや先生との触れ合いを通して新しい環境に慣れ親しむ時期				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級や入園を喜び張り切って行動する子どもや、環境の変化に緊張したり、保護者と離れることに不安な気持ちになったりする子どもがいるなど、様々な変化が見られる。</li> <li>・新しい先生との関わりの中で、自分のしたい遊びを見つけたり気の合う友達と遊んだりして、徐々に自分の思いを出し、安定していく姿が見られる。</li> <li>・次々といろいろな遊びに興味をもちやってみようとする姿が見られる。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活の仕方が分かり、自分でできることは自分でしようとする。</li> <li>・新しい先生や友達に親しみをもって関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・いろいろな遊具や用具、素材や材料に触れ、興味や関心をもって遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>			
内容 (養護の視点・教育の視点)	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達に親しみを持ち、安心して自分の思いを表して遊ぼうとする。</li> <li>・遊具や用具の安全な使い方や片付け方を知り、先生と一緒に準備や片付けをしたり、遊んだりする。</li> <li>・様々な遊びの中で体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定して遊べるように親しんでいた遊具や新たな遊具、用具などを準備したり、落ち着いて取り組める場を設けたりする。</li> <li>・身支度や持ち物の始末が自分からできるように、子どもの動線を考えて配置する。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生と一緒に遊ぶことを喜んだり、興味のある遊びを通して友達と一緒に遊んだりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の気持ちを丁寧に受け止め生活の見通しがもてるように伝えたり、好きな遊びを一緒に見つけたりする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂や水などに触れ、試したり、考えたりして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・春の自然に触れ、新緑や風などを感じたり、生き物に親しみ、関わったりすることを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを出して遊びを楽しむ姿を受け止め、一緒に楽しんだり、興味や関心をもてるように様々な遊びの場を設けたりする。</li> <li>・身近な動植物への興味や関心、愛情の芽生えにつながるよう一緒に見たり、触れたりしやすい場所や配置を工夫する。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達に自分の思いや考えを自分なりに表現しようとする。</li> <li>・自分で好きな絵本や図鑑を見たり、先生や友達と一緒に絵本を見たりすることを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの思いを汲み取って言葉にして声をかけたり、思いを受け止めたりしていく。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな素材や材料を使って、自分なりに絵をかいたりつくったりすることを楽しむ。</li> <li>・先生や友達と一緒に歌うことやリズム遊びを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみやすく季節感のある歌や手遊びを、一緒に楽しむ。</li> <li>・気持ちを開放させて遊べるような素材や遊具、用具などを取り入れる。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化に伴う、子どもや保護者の戸惑いや不安を受け止め、園の様子を具体的に伝え、信頼関係を築いていく。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

4歳児教育・保育課程 II期（6月、7月、8月）

いろいろな遊びに興味をもち、先生や友達と触れ合うことを楽しむ時期				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>園での生活にも慣れ、一日の見直しがもてるようになり、自分のしたい遊びを楽しむようになる。</li> <li>同じ場で遊ぶ友達との関わりが増える一方、思いの行き違いからトラブルになることもある。</li> <li>砂、土、泥、水、草花などの素材に触れたり、五感で感じたり感触を全身で味わって遊ぶことを楽しんでいる。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな感触あそびを楽しみ、心を解放したり、心地よさを感じたりする。</li> <li>先生や友達と関わりながら自分のやりたい遊びを存分に楽しむ。</li> <li>夏の自然に触れたり、動植物に興味や関心をもって関わったりする。</li> </ul>			
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身に付け、梅雨や夏の時期を清潔、快適に過ごそうとする。</li> <li>きまりや約束が分かり、水遊びやプールでの遊び、運動遊びなどを楽しむ。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で体を清潔に保てるように、タオルや雑巾を適時、置いておいたり、水分補給を促したりする。</li> <li>静と動の遊びや時間を考慮し、子どもが自分から休息をとれるような場や時間をつくる。</li> <li>心と体を十分に動かして遊べるように、子どもと共に遊具や用具を準備し、楽しい思いに共感したり、励ましたり、認めたりする。</li> <li>水遊びやプール遊びが楽しめるように安全や衛生に配慮して場を整える。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友達のしていることに興味をもったり、気の合う友達と一緒に遊んだりする。</li> <li>簡単なルールのある遊びを楽しんだり、クラスで活動したりすることを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の思いを受け止めながら相手の思いに気付けるようにする。</li> <li>友達が遊んでいる様子を感じられるように遊びと遊びの距離や位置に配慮した環境を整える。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な素材に触れ、感触を楽しみながら試したり、考えたりして遊ぶ。</li> <li>雨や虹など夏の自然に触れ、不思議さや美しさなどを感じる。</li> <li>栽培物の変化や生長の様子に興味をもったり喜んだりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>機会を逃さず、自然現象をとらえて、子どもが関心を向けたり関わったりできるようにする。</li> <li>世話をして生長を感じられるように、栽培する場所を設定したり、関わったりできるようにする。</li> <li>栽培物に思いを寄せる姿を見守り、子どもの思いに共感する。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の興味をもったことや経験したことを相手に言葉で伝えようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>思いや考えを言葉で伝えようとする姿を受け止め、状況に応じて必要な言葉を知らせる。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なものになって自分なりに思ったことや感じたことを動きで表現することを楽しむ。</li> <li>色の美しさ、形の面白さなどに気付きながら様々な素材や用具を使って自分なりに表現することを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な素材や材料を準備し、子どもが思いのまま表現する喜びが味わえるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達関係において不安を持つ保護者には長い見通しの中で築かれていく友達関係を見守り、支えられるよう友達と関わる様子を丁寧に伝える。</li> <li>安全にプール遊びを楽しめるよう、家庭でも体調管理をお願いし、朝の体調や遊びの参加を確認する。</li> <li>夏を健康に過ごせるように家庭での様子を把握しながら健康状態や園での様子など家庭と密に連携する。</li> </ul>			



## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

4歳児教育・保育課程 Ⅲ期（9月、10月）

自分なりの目的をもって遊び、友達との関わりを楽しむ時期				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏のできごとや自分が経験したことを友達や先生に喜んで話す。</li> <li>運動会への取り組みを通して年長児への憧れをもち、真似たり新しいことに挑戦したりする。</li> <li>友達がしようとしていることに興味をもち、やってみようとしたり、自分のしたい遊びに友達を誘ったりする。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな運動遊びに取り組み、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。</li> <li>自分のしたい遊びを見つけ、自分なりに試したり表現したりする。</li> <li>気の合う友達と一緒に遊んだり、みんなで活動したりする楽しさを味わう。</li> </ul>			
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や活動に応じて、自分で衣服を調節したり、着替えたり、水分補給したりする。</li> <li>遊具や用具を安全に扱い、色々な運動遊びに親しむ。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりにめあてをもち、繰り返し取り組もうとする姿を支え、自信につなげていく。</li> <li>みんなで楽しく遊ぶために、自分なりに考えて行動したり、約束やルールを守ったりする姿を認める。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな人と関わったり、触れ合ったりすることを楽しむ。</li> <li>自分の思いを相手に伝えながら遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>思いの行き違いが起こった時は、それぞれの気持ちを十分に受け止め、互いの思いを十分に出し合えるように働きかける。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然物や事象に興味をもち、見たり触れたりして楽しむ。</li> <li>季節の移り変わりや自然物に関心をもって集めたり、自分なりの気づきを喜んだりする。</li> <li>身近な動植物に親しみをもち、世話をしたり、特徴に気付いたりして関わることを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の移り変わりを感じられるように園内外の自然物を環境に取り入れる。</li> <li>自然物や事象に子どもが気付いたり、遊びに取り入れたりする機会を大事にする。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友達に自分なりの言葉で話したり、相手の話を聞いたりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じて言葉を付け加えたり、思いを尋ねたりすることで、話が伝わる喜びが味わえるようにする。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>見たことや感じたこと経験したことなどのイメージを膨らませながらかいたりつくったりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの表現ができるよう、いろいろな素材や用具を身近に置き、繰り返し遊べる環境を整える。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外での活動的な遊びが増えることや、疲れが出やすい時期であることを伝え、家庭での生活リズムと休息に配慮してもらう。</li> <li>子ども同士の関わりが増えることにより、思いのぶつかり合いも増える時期であることを伝え、心の育ちを共に見守る姿勢につなげる。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

4歳児教育・保育課程 IV期（11月、12月）

自分の目的やイメージをもって、友達と一緒に遊ぶことが楽しい時期			
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>力いっぱい体を動かして遊ぶ楽しさや満足感を味わったことで、活発に遊んだり新しいことにも挑戦したりするなど意欲的に遊ぶ姿が見られる。</li> <li>気の合う友達や年長児の刺激を受けて、自分なりのめあてをもって取り組んだり、イメージを膨らませたりしながら、繰り返し遊んでいる。</li> <li>自分の思いを通したいと願う一方で、一緒に遊びたいという思いもあり、葛藤することもある。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目的をもって、友達と一緒に遊びを進め、楽しさを味わう。</li> <li>身近なものやことに興味をもって関わり、遊びに取り入れる。</li> </ul>		
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に必要な習慣や病気予防の大切さを知る。</li> <li>戸外で思い切り体を動かして遊ぶ。</li> </ul>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病気の予防への意識がもてるように分かりやすく話したり、促したりする。</li> <li>保育者も率先して戸外に出て子どもと一緒に活動し、体を動かす心地よさに共感する。</li> <li>互いの思いを受け止めながら、解決を急がず自己決定する時間や機会を大切にす。</li> <li>園外保育で見つかったり、集めたりした自然物に関心が向くように、図鑑や資料を置いたり、遊びに使えるように分類したりしておく。</li> <li>季節が感じられる飾りやつくった物などを、飾るなどして、この時期ならではの雰囲気を楽しめるようにする。</li> <li>相手に分かるように話したり、相手の話を聞いたりする必要があることを、保育者も一緒に遊びながら知らせていく。</li> <li>絵本や歌などから発想したことを受け止めたり、一緒に考えたりしながらやりとりの楽しさを味わえるようにする。</li> <li>つくりたい、使いたいと思ったものが選んで楽しめるような材料や楽器を整え、その子なりの表現を受け止めていく。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と遊ぶ中で自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりする。一方で、思いの行き違いからトラブルになることがある。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に触れ、変化に気付いたり、自然物を使って遊んだりする。</li> <li>秋や初冬の自然のもつ美しさや不思議さなどに気付いたり感じたりする。</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～3人の友達と思いを出し合いながら遊ぶ。</li> <li>絵本やお話などに親しみ、自分なりに想像を膨らませて遊んだり、言葉の響きやリズムの面白さを味わったりする。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のイメージしたことや経験したことなどをいろいろな材料や方法で表現することを楽しむ。</li> <li>友達と一緒に歌ったり、楽器を使って簡単なリズム遊びをしたりする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温の変化に伴い、風邪や感染症などで体調を崩さないよう、家庭と連携して健康管理を行う。</li> <li>遊びの様子などを具体的に伝え、子どもの成長を共有すると共に、保護者の思いを受け止め、園と共に子育てをしていく姿勢につなげる。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

4歳児教育・保育課程 V期（1月、2月、3月）

友達の思いを感じながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる時期		
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と簡単なルールのある遊びを楽しむと同時に、思いの行き違いからトラブルになる姿もある。</li> <li>・友達とのやりとりの中で自分の気持ちを伝えたり、話を聞いて相手の思いに気付いたりするようになる。</li> <li>・いろいろなイメージを出し合い、クラスの友達と共通の遊びを楽しむ姿が見られる。</li> <li>・年長になることを意識し始め、当番活動などに意欲的に取り組む姿が見られる。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活を通してイメージを膨らませ、クラスの友達と一緒にいろいろな方法で表現することを楽しむ。</li> <li>・自分なりのめあてをもち、遊びに取り組もうとする。</li> <li>・冬から春にかけての身近な自然事象や行事に興味や関心をもって遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを自分でしたり、冬の健康な生活に必要な習慣が分かり、やろうとしたりする。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と思いを出し合ったり、ぶつけ合ったりしながら、友達の気持ちに気づき、遊びを進めようとする。</li> <li>・クラスで取り組む活動を通して、友達とつながる楽しさを味わう。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたい遊びを楽しむ中で、文字や数量、色、形に興味をもつ。</li> <li>・季節の変化を感じ、雪や氷など自然事象の不思議さや美しさを感じ、遊びや生活に取り入れる。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたことや経験したことを自分の言葉で伝える。</li> <li>・相手の思いを聞いたり、受け入れようとしていたりする。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や物語などを見たり聞いたりして自分なりにイメージを膨らませ、友達と一緒にやりきって表現することを楽しむ。</li> </ul>
		援助と環境の構成
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣が身に付いているか確認し、見守り認めていく。</li> <li>・葛藤等を体験することを通して相手の気持ちに気付けるように、一人一人に応じた関わりや細かな援助をしていく。</li> <li>・遊びや生活の中で文字や数量、色、形などに興味をもてるように保育者も一緒に楽しむ。</li> <li>・自然事象と関わる機会を逃さず存分に楽しめるようにする。</li> <li>・個々の思いを十分に受け止め、互いの思いが伝わるように仲介する。</li> <li>・一人一人の表現や発想を受け止める。</li> <li>・友達の表現を見たり、触れたり、認めたりできる機会を設ける。</li> <li>・進級を前に自信をもって生活できるよう必要に応じて励ましたり、促したりする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりやクラスだよりで、進級に向けて意欲的に活動している姿や、一年間の子どもの成長した姿を伝え、保護者と喜びを共有していく。</li> </ul>	

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

# 5歳児

養 護	生命の 保持	健康、安全な生活に必要な習慣を身に付け、自ら進んで行動できるようにする。
	情緒の 安定	友達への親しみや信頼感を高め、協同的な経験や活動に自信をもって取り組めるようにする。

I 期 『年長になった喜びや自覚をもつ時期』

II 期 『試したり繰り返したりして充実感を感じる時期』

III 期 『一人一人が自分の力を発揮し、意欲的に取り組む時期』

IV 期 『友達関係が深まり、目的をもち、力を合わせて遊ぶ時期』

V 期 『一人一人が力を発揮しながら、集団として高まっていく時期』



年長になった喜びや自覚をもつ時期			
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長になった喜びを感じ、生活する姿が見られるが、中には新しい環境に戸惑いや緊張したりする子どももいる。</li> <li>・遊具や素材、自然などの環境に積極的に関わり、遊びに取り入れ、楽しむ姿が見られる。</li> <li>・4歳児の時の友達や安心できる友達と一緒に好きな遊びを楽しんでいる。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長になったことの喜びを感じ、意欲的に生活をする。</li> <li>・先生や友達と関わる中で、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いに気付いたりする。</li> <li>・身近な環境に意欲的に関わり、試したり、考えたりしながら遊ぶ。</li> </ul>		
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体に関心をもち、健康な生活に必要な習慣や態度を身につける。</li> <li>・遊具や用具の安全な使い方を再確認しながら、戸外で十分に体を動かして遊ぶ。</li> </ul>	援助と環境の構成
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達や同じ遊びに興味をもっている友達と一緒に、したい遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の草花や生き物に親しみをもち、触れたり、遊びや生活に取り入れたりする。</li> <li>・身近な虫や小動物に親しみをもち友達と一緒に世話をする。</li> <li>・種まきや苗植えをして、生長に期待をもって、進んで世話をしようとする。</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中で感じたことや思いを先生や友達に、自分の言葉で伝える。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。</li> <li>・様々な素材や材料を使って、作ったりかいたりすることを楽しむ。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者の戸惑いや不安を受け止め、園の様子を具体的に伝え、信頼関係が築けるよう関わる。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

試したり繰り返したりして充実感を感じる時期			
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びの中で、自分なりにめあてをもって取り組んだり、挑戦しようとしたりする。</li> <li>・気の合う友達と誘い合って遊びたい気持ちが強くなってくるが、自分の気持ちがうまく出せなかったり、遊びが続かなかったりすることがある。</li> <li>・身近な自然に関わり、興味や関心を深め、遊びの中に取り入れようとする。</li> </ul>		
ねら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の感触を全身で楽しみ、解放感を味わう。</li> <li>・友達と互いの思いや考えを出し合いながら、遊びを進めようとする。</li> <li>・身近な自然物や環境に触れ、試したり考えたりして遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>		
内容（養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅雨、夏の時期を清潔で快適に過ごそうとする。</li> <li>・水遊びやプール遊びなど、安全に遊びながら気持ちを解放したり、自分なりにめあてをもって夏の遊びを楽しんだりする。</li> </ul>	援助と環境の構成
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と、思いや考えを伝え合って遊びを進めようとする。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂、土、水に触れて繰り返し遊びを楽しむ中で、感触や性質の違いを感じる。</li> <li>・梅雨や夏の自然を感じ、不思議に思ったり、考えたりし、自然と関わって遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・身近な小動物に関心をもち、進んで世話をしたり、植物の生長に関心をもち、収穫を喜んだりする</li> </ul>	
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達や先生に自分の思いや考えを言葉で伝え、相手に伝わる心地よさを感じる。</li> <li>・絵本や物語などに親しみ、想像を広げながら楽しむ。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材や用具の特性を生かし、遊びに必要なものを作ったりかいたりする楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の体調管理に努め、水分補給や休息を十分にとる。</li> <li>・水遊びやプール遊びは、個人差を考慮しながら一人一人がめあてをもち、意欲をもって楽しめるよう、工夫する。</li> <li>・遊びを進める楽しさを感じられるように、子どもの考えや発想を大切に受け止め、他児に伝えたり、クラスで紹介したりして、楽しさが共有できるようにする。</li> <li>・遊びや生活の中で起こったトラブルは、子ども同士で思いを伝え合う姿を見守りながら、必要に応じて仲立ちをする。</li> <li>・自然現象を捉え、一緒に感動したり生き物の特性などを調べたりして、遊びや生活に取り入れられるよう、図鑑や写真を提示しておく。</li> <li>・季節の絵本や物語を遊びや生活に取り入れられるように、準備しておく。</li> <li>・保育者も仲間となって一緒に遊びながら、必要に応じて話を整理し、それぞれの思いを伝え合う喜びが感じられるようにする。</li> <li>・いろいろな表現を認めたり、互いの表現を認め合ったりする場をもつ。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏を健康に過ごせるように、健康状態や睡眠などについて家庭と連携する。また、安全にプール遊びを楽しめるよう、家庭でも体調管理をお願いし、朝の体調やプール遊びの参加の有無についての確認をしっかりと行う。</li> <li>・1学期の成長や変化、課題などについて、保護者と共通理解をする。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

一人一人が自分の力を発揮し、意欲的に取り組む時期				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し運動的な遊びに挑戦し、自分の力を発揮するようになる。</li> <li>・友達と遊びのルールを考えたり、ルールを守って遊ぼうとしたりする。</li> <li>・秋の自然物を遊びに取り入れて、気付いたことを周りの友達に伝えるようになる。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで運動遊びに取り組み、自分なりのめあてをもって体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・友達と互いに思いや考えを出し合い、力を合わせて遊びを進めようとする。</li> <li>・秋の自然に触れ、興味や関心を持ち、遊びに取り入れようとする。</li> </ul>			
内容 (養護の視点・教育の視点)	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な運動遊びに興味をもち、戸外で体を十分に動かして遊び、自分なりのめあてを達成しようとする。</li> <li>・運動しやすい服装や汗の始末、衣服の調節、着替えなどを自分でしようとする。また、水分補給を意識して行い、休息をとることを心掛ける。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の葛藤体験を受けとめながら、一人一人が自分なりのめあてに向かう姿を認めたり、励ましたりする。</li> <li>・運動後の休息や水分補給をする時間と場所を確保し、子ども自身が意識して体調を管理できるように努める。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じチームの友達と共通の目的に向かって力を出し合う。</li> <li>・遊びや生活に必要な約束やみんなで作ったルールを守って遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで相談したり、協力したりしながら、生活や遊びを楽しむ姿を認める。自分たちで作ったルールで遊ぶ姿を見守りながら、ルールを守って遊ぶ楽しさや大切さに気付けるようにする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の草花や生き物に親しみをもち、触れたり、遊びや生活に取り入れれたりする。</li> <li>・種まきや苗植えをして、生長の変化に気付いたり、期待をもって進んで世話をしたりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の環境を活用して季節の変化や自然に触れ、子どもの発見やつぶやきを受けとめたり、興味をもった時に調べられるように図鑑を準備したりしておく。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中で自分の思いを友達に伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら、自分たちで遊びを進めようとする気持ちをもつ。</li> <li>・絵本や物語などの内容に興味をもって聞き、想像したり、遊びに取り入れようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの思いを伝え合うことで、遊びがより楽しくなり、充実感が味わえるよう、友達の思いや考えを聞こうとする場を設ける。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな素材や用具の特性を活かしながら、自分なりに工夫したり、友達と一緒にかいたり、つくったりして楽しむ。</li> <li>・友達と様々なリズムや歌に触れ、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが様々な方法で表現することを受け止めたり、互いの表現を認め合ったりしながら表現する楽しさが存分に味わえるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携をとりながら、暑さや体調に合わせて体を横にしたり、体調に合わせて休息する場所と時間を確保したりしていく。</li> <li>・一人一人が自分なりのめあてをもって挑戦したり、繰り返し取り組んだりしている過程を保護者に伝えて育ちを共有していく。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

友達関係が深まり、目的をもち、力を合わせて遊ぶ時期				
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とのつながりが深まり、思いや考えを出し合いながら遊びを進めようとする姿が見られる。</li> <li>・イメージを膨らませて遊ぶ楽しさを感じたり、自分なりの方法で表現しようとしたりする。</li> <li>・季節の変化を感じながら、身近な自然を遊びに取り入れようとする。</li> </ul>			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と共通の目的を見だし、工夫したり、力を合わせたりして活動する楽しさを味わう。</li> <li>・自分の思いを相手に分かるように伝えたり、相手の思いに気付いたりする。</li> <li>・経験したことや感じたこと、イメージしたことをいろいろな方法で表現することを楽しむ。</li> </ul>			
内容 (養護の視点・教育の視点)	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に必要な習慣や病気予防の大切さが分かり、うがいや手洗いを進んでしようとする。</li> <li>・戸外で思い切り体を動かして遊ぶ。</li> </ul>	援助と環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に必要なことを、自分から進んでする姿を認めていく。</li> <li>・目的やめあてをもって進んで体を動かす機会を保障する。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と共通のめあてに向かって、力を合わせて取り組む。</li> <li>・自分の考えと相手の考えの違いに気付き、折り合いを付けながら遊びを進めようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と考えがぶつかる時には、互いが思いを出し合えるよう見守ったり、時には仲介したりしながら、様々な考えややり方があることに気付けるようにする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然に触れ、その美しさや不思議さを感じたり、遊びに取り入れたりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の移り変わりを肌で感じられるよう、自然に触れたり自然物を遊びに取り入れたりできる環境を用意する。</li> <li>・木の葉や木の実、栽培物など、比べたり分けたりして遊べる場をつくっておく。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を聞こうとしたり、自分の思いを相手に伝わるように話したりする。</li> <li>・伝えたいことを、文字などの記号で表そうとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように話すと相手に自分の思いが伝わりやすいか、保育者も一緒に思いを整理しながら、言葉を補ったり、話し方を考えたりできるようにする。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや考えたことを、音や動きなどで表現したり、自由にかいたりつくったりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものイメージや表現を認め、友達と一緒に表現したり、工夫したりする楽しさが味わえるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化に伴い、風邪や感染症で体調を崩さないよう、家庭と連携して体調管理をする。</li> <li>・子どもの成長を喜び合う機会となるようにすると共に、保護者の不安を受け止め、子どもを育む気持ちにつなげていけるようにする。</li> </ul>			

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。



5歳児教育・保育課程 V期（1月、2月、3月）

一人一人が力を発揮しながら、集団として高まっていく時期

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に活動したり力を合わせたりしてやり遂げる経験をし、集団意識が高まってくる。</li> <li>・一人一人が自分らしさを発揮し、役割を持って行動できるようになる。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と共通の目的に向かってやり遂げたり、自分たちで主体的に生活や遊びを進めたりする充実感を味わう。</li> </ul>		
内容 （養護の視点・教育の視点）	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">援助と環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面でどのように行動するか、を考える機会をもつ。</li> <li>・一人一人のよさを十分に活かせる場や役割に配慮し、友達と協力したり、遊びをつくり上げていく楽しさや充実感を感じたりできるようにしていく。</li> <li>・家族や地域の人など、支えてもらった人への感謝の気持ちがもてるような機会をもつ。</li> <li>・冬から春にかけての季節の変化に気付いたり、日本古来の行事に関心をもったりできるよう、機会を逃さず触れたり関わったりする。</li> <li>・知的好奇心が膨らむような環境づくりや十分な時間の保障をする。</li> <li>・生活の中で、いろいろな場面に応じた話し方や場にふさわしい言葉を使い、言葉を交わす喜びが味わえるようにする。</li> <li>・友達と一緒に考えたりつくったり表現したりする楽しさが感じられるよう、子どもの発想や表現を十分認めていく。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了を迎える喜びや自信を感じられるよう、1年間の成長を園と家庭が共有できるようにする。</li> <li>・生活習慣や規則正しい生活リズムの確認を家庭と連携して行っていく。</li> </ul>		

## MEMO

- ①各月の教材研究に活用する。
  - ②クラス間の共通確認だけでなく、学年間の積み上げについても意識する。
  - ③再検討や見直しが必要なところを記入する。
- \*市のカリキュラム検討会に意見を反映できるよう連携をお願いします。

保護者連携、支援、教育相談等年間通じて配慮する内容

	保護者連携、支援	教育相談
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		

# 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

(育ってきた姿、育ちつつある姿)

<p><u>健康な心と体</u> 充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組むようになる。</p>	
<p><u>自立心</u> 自分でしなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。</p>	
<p><u>協同性</u> 互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p>	
<p><u>道徳性・規範意識の芽生え</u> してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。</p>	
<p><u>社会生活との関わり</u> 家族を大切にしようとする気持ちをもったり、自分が役に立つ喜びを感じたり、地域に一層の親しみをもったりするようになる。また、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p>	
<p><u>思考力の芽生え</u> 思い巡らし予想したり、工夫したりなど多様な関わりを楽しみ、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p>	
<p><u>自然との関わり・生命尊重</u> 自然に触れて感動する体験を通して、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、生命の不思議さや尊さに気付き、命あるものとしていたわり、大切にすることをもちかえりをもって関わるようになる。</p>	
<p><u>数量や図形、標識や文字などへの感心・感覚</u> 数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>	
<p><u>言葉による伝え合い</u> 先生や友達と心通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>	
<p><u>豊かな感性と表現</u> 心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>	

発達表

\*発達には個人差があり、あくまでもこの表は、おおよその発達の指標です。

	0~2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7~8か月	9か月	10か月	11か月	1歳~1歳3か月	1歳3か月~1歳6か月	1歳6か月~2歳	2歳~2歳6か月	2歳6か月~3歳	3歳~3歳6か月	3歳6か月~4歳	4歳~4歳6か月	4歳6か月~5歳	5歳~5歳6か月	5歳6か月~6歳	6歳~7歳
生理的機能	・原始反射(モー反射、把握反射、口唇探索反射、吸てつ反射)などが活発である		・「立ち直り反応」*1が見られ始める		・原始反射のほとんどが消失する		・母体免疫から自己免疫へと切り換わる	・より高次の大脳の成熟が進み、バランスをとる力、手指の調整における力がついてくる。			・脳重量が出生時の3倍、内部の構造も成人の脳に似てくる。		・心臓、肺、胃、腸などの内臓組織や機能が急速に成熟する。		・脳重量は成人の80%に達する ・心臓などの臓器の中心器官が大きくなるなどにも機能も増大する。 ・脳下垂体から分泌される成長ホルモンの働きが強くなる。		・利き手が決まってくる ・遠近の区別がつき、視力は青年期と同じレベルに達し、匂いや味の違いがこれまで以上に分化する。				
機能	・泣く力・笑う力		・首がすわる			・乳歯が生えはじめる ・8か月不安(大人の後追い、夜泣き)							・乳歯が20本生えそろう								
生活習慣	睡眠	・生後28日未満の新生児は1日16時間前後眠る		・昼夜を区別し、よく眠るようになる		・1日14時間前後眠る ・午睡は午前、午後、夕方の3回になる	・午睡は午前、午後の2回になる			・午睡が1回になってくる											
	排泄										・排尿感覚が2時間を超えようになってくる	・排泄の予告をする	・おむつの使用が減り、パンツへ移行していく				・排泄の自立				
	食事				・離乳食開始 なめらかにすりつぶした状態		・舌でつぶせる固さ	・歯ぐきでつぶせる固さ		・歯ぐきでかめる固さ 手づかみやスプーンを使って自分で食べようとする	・離乳食完了		・スプーンを正しく持つ ・はしを使い始める				・はしだけで食事をすすめるようになる				
	着脱									・着脱を自分でしようとする		・座ってズボンを脱ぐ、はく ・上着を脱ぐ、着る	・靴を履く	・ボタン、スナップをとめる 衣服の前後、裏表がわかる			・ひとりだけで着脱できる				
全身運動	・あおむけで左右非対称な姿勢	・あおむけで左右対称	・手と手、足と足をふれ合わせる	・手や足をつかんだり、つかんだ足を口に入れたりする ・うつぶせでは手のひらで支える	・寝返り・旋回をする	・ずりばいで移動が始まる ・お座りができ始める	・四つ這いで移動する ・つかまり立ちをし、伝い歩きをはじめ	・四つ這い⇒お座り ⇒つかまり立ち⇒お座りなどの姿勢の変換が自由にできる	・高ばいをする ひとりて立つ	・歩行が始まる	・目的に合わせて、体を方向転換する ・両足跳びや段差からの飛び降り挑戦する 走る	・様々な抵抗に立ち向かう ・「速いー遅い」「高いー低い」などの動きを調整する ・三輪車を足で蹴って進む				・ケンケン、三輪車をこぐなど「～しながら…する活動」が得意になる					
手指の操作	・ものを持たせると5秒程度持っている	・持っているものを取り上げようとする と少し抵抗する	・持ったものを口に入れたりふったりする	・自発的に手を伸ばしてつかむ ・手指がもみじ状に開く	・両手把握を媒介にした持ちかえをする	・手に持ったものを自ら離すことは難しい	・左右の手にそれぞれものをもちながら離すことができる ・「散らかす」操作がさかん	・器にものを入れようとするなど「内に向けた調整」が見られる ・親指と人差し指で斜め上から小さいものをつかむ	・左右交互に持ったものをのせる、入れる、くっつける、相手に渡すといったことができる	・器への入れ分けは難しくどちらか一方にいれる ・積み木を2個程度積む	・スプーンやコップで食べ物や砂などをすくったり入れたりする ・積み木を3~10個積む	・器への入れ分け、うつけかえをする ・積み木を長く並べその過程でゆがみの調整をする ・くぐるく丸(円錯画)を描く	・粘土などを指先にかき入れて形を変える ・モデルをまねて縦線や横線を描く ・Vサインをする ・シールをはがす ・紙を折る	・モデルと共に両手の交互開閉が数回できる ・顔らしきものを表現する	・片手で紙をかきしながらはさみで形を切り抜くことに挑戦し始める ・「頭、足、人、頭足人」を描く	・モデルなして両手の交互開閉ができるようになる ・道具を使う手と素材を支える手という両手の機能分化が進む。 ・四角形を書く	・積み木では「斜め」を含む階段の構成に挑戦し始める ・三角形を描く	・横向きの人物画を表現し始める ・だんだん大きな丸を描く ・道順をあらわすイメージで描く	・眉、歯、服など人物画の表現が詳細になる。 ・ひし形を描く(斜線の組み合わせ) ・編み物、駒回し、泥団子づくりなどより細かい作業が可能になる ・友達との共同制作が可能になる		
言語認識	点としての追視	線としての追視 母親を目で追う	面としての追視ができる	全方位に追視ができる	二つのものを右、左、右などと理解し見比べる	指をさすとその指先や指した人の顔を見る 抱っこされるときに両手をのばす	指した先にあるものを見つめる 要求の手指しや発声が見られる。 2音の反復的音声*3を発する	初めての意味のある語がでる(マンマなど) ・要求の指差しが見られる ・「ワンワン」「ニャンニャン」など別別し表現し始める	見つけてうれしいものを指さす(定位の指差し) ・一定の事物に一定の音声結びつく	・四足動物を「わーわー」、食べ物や砂などを「マンマ」など共通する特徴をもつグループの名称としての言葉が発する	・聞かれたものを指さす ・目や耳など対になったものをこたえる ・大ー小、長ー短多ー少など二次元的な認識を獲得する	多様な二語文を話すようになる 作ったものを何かに見立てる ・大ー小、長ー短多ー少など二次元的な認識を獲得する	・「なんて?」が多くなる ・性別、姓名、年齢などを獲得する	・経験を言葉で伝える	・数の選択や復唱では3まで可能になり「4」に挑戦し始める ・質問を一般化して捉え、答えることができる	・呼称、概括*4、選択では10まで可能 ・接続詞を用いながら複文で話す ・言葉が行動の自己抑制を持ち始める	・「グーチョコキバー」や「赤黄青」の信号など、3個フレンセットのルールに興味を持ち始める	・「過去現在未来」「左・真ん中・右」「好き・普通・嫌い」など三次元の世界が形成され始める ・対面する相手の左右が分かる ・道順や経験を文脈を作って説明する	・三次元の世界が豊かになる ・理屈を根拠とした言語的な説明が可能になる ・「読み書き計算」への関心が芽生える ・言語が考える手段となる ・絵本、書籍など身近な文字への関心が高まる ・卵と石、砂糖と塩など、色やかたさなど、同じカテゴリで対比的に区別し始める		
自我社会性	・うとうとしたとき微笑んでいるような表情が見られる。	・あやしかけに微笑みを返す。	・自分から相手に向かって微笑みかける。	・親しい人には笑いかけ、知らない人はじっと見つめる。	・知らない人と対面すると背を向けたり振り返ったりを繰り返す。	・8か月不安*2が見られる。 ・知らない人の顔をわざわざ見て泣く。	・特定の人のよりどころにしながら、外の世界へも気持ち向け始める。 ・人の表情から場面の意味を読み取る。	・「ちょうだい」に対して、渡そうとする。 ・鏡に映った自分と他人を見分ける。 ・名前を呼ばれると手を挙げる。	・得意、照れる、かわいがるといった感情を示す。	自我の芽生え ・ダメと禁止されるが、要求が持続しない。	・場面での切り替え、気持ちの立ち直りが得意になる ・かみつきが見られることもある ・要求実現の際、「～ちゃんも」と自分の名前をつかう	自我の充実 ・自分と他者とは同等に、余りは自分に配る	・「僕」「私」を認識し表現する。 ・自己主張と他者受容が共存 ・出会いや再会の場面で、目をつぶったり、隠れて相手の顔が見られなかったりする ・好きな友達との間で、貸し借りや順番、交代などが得意になる	・チャレンジ精神旺盛で、何でもできるという自信に満ち溢れている ・気持ちの調整がうまくできず感情になつたり、攻撃的になつたりする	自我の形成 ・ネガティブな感情や葛藤を制御して、ポジティブな行動を実行するための内面的な調整が可能になる ・年下の子に具体的な導きの手を差し伸べる	・「できたーできない」の二分評価から「～したらできる」という系列的評価へ進み始める ・自分の体などの「大きさの変化」を探え始める ・「教えた友達」「できた」経験を喜び、自己信頼感を培う	・友達同士の世界を作り始める ・やり方を示し、間接的・部分的な助けができる ・自分の「能力や習慣の変化」に注目する ・「教えた友達」「できた」経験を喜び、自己信頼感を培う	・活動範囲や興味の対象が地域へと広がり、社会的ルールの理解が始まる ・売り手と買い手など二手に分かれた遊び、勝ち負けのあるゲームを楽しむ ・集団の中でルールに基づく役割を理解し、役割交代ができる ・相手の気持ち、立場を考え、相手の過ちに対し謝罪があれば許すことができ、故意かどうかにも注目するようになる			
乳幼児健康診査			4か月健診 相手注視 追試(左右上下) ガラガラ把握左右 手指のひらき 開閉制限*5 ひきおこし 腹臥位*6 (頭をあげるか) 瞬目反射 微笑む 発声			7か月問診		10か月健診 積み木打ち合わせ ちょうだい 反応 鈴・ピンチ反応 呼名反応 (ぶりむく、ハイバイ) 身近なもののネーミング理解		1歳2か月問診		1歳6か月健診 積み木(2,3,4,5、以上) はめいた(O)に入れる 絵本「犬、自動車はどれ?」に指差しで答える 視線が合う 描画(一、点、なぐり書き、円さく)	2歳児問診	2歳6か月健診 あいさつ マル一つ(描けるか) トラック模倣(積み木の組み立て模倣) 絵カードに答える 見立て (めがね、自転車、鉛筆、時計、椅子、ボール) 指示の理解 2語文が出ているか	3歳問診	3歳6か月健診 視力検査 聴力検査 尿検査 あいさつ 名前を言う 年齢を言う 性別理解、大小理解、長短理解、もしおなかがすいたらどうする? 数の理解 十字模倣 両手交互開閉					

要観察  
首すわり1以下かつ腹臥位4.5度以下⇒医師診察結果で再審できない場合10か月健診で確認  
体重増加不良

要観察  
呼名(-)ピンチ把握(はさみ状)  
ちょうだい(無視かつかばいばい)  
一人でお座りができない  
運動発達できない項目3つ以上  
未振りできないかつ理解している様子なし  
喃語のバリエーションが異常に乏しい  
(マンマンマン、ダッダッダ、ジャブジャブなど複雑な音の連続性があるか)

要観察  
積み木⇒積み木、2個以下かつ不器用  
絵本⇒できないかつ視線合わない理解していない  
一人歩きができない  
有意語(-)または3語以下  
全体的な幼さ

要観察  
トラック積み木⇒例示通り積みず見立てがあまり  
絵カード⇒できないかつ視線が合わない  
十字模倣⇒なぐり書き、丸にならず不器用  
2語文がなく単語中心  
衝動性高い、多動、全体的な幼さ

要観察  
導かれたことと同じ言葉で繰り返すことが多い  
指示を理解している様子がなくパターン化している  
大小(-)数(-)  
十字模倣⇒なぐり書き、縦線のみ  
模倣が含みにくい  
衝動性高い 多動 人見知りが強すぎる

- \*1「立ち直り反応」重力に対して頭部を垂直に起こそうとする反応
- \*2「8か月不安」見知らぬ人を選び、母親や保育者などへの特定化を強めていき、次第に後追いや夜泣きが多くなること
- \*3「2音の反復的音声」マンマン、ナンナン、ダッダッダ など
- \*4「概括」全体で対象となるものがいくつ(何個あるということがわかる力)数の概念の数唱理解の指標の一つ。
- \*5「開閉制限」股関節のひらき具合の様子(硬さ、開き具合、下肢の長短のバランス、しわの数、つま先の向き)
- \*6「腹臥位」腹を床につけて寝ている状態

守山市 保育園 認定こども園 幼稚園 幼児教育・保育カリキュラム

平成 30 年度公立園長会 起案

平成 31 年度、令和 2 年度公立副園長・主幹教諭会 編纂

令和 3 年 3 月発行

監修：京都大学国際高等教育院 准教授 田中 真介 先生

発行：守山市こども家庭局保育幼稚園課ならびに守山市教育委員会保育幼稚園課

〒524-8585 守山市吉身 2 丁目 5-22

TEL：077-582-1129

FAX：077-582-1138

Mail：hoikuyochien@city.moriyama.lg.jp